

14. 21-478



1200501160822

14.21

178



始



1424
478

新汕頭



臺灣總督官房調查課

川 保

序

中國々民黨總理孫文が北京で客死したのは、民國十四年三月十二日であつた。孫文主義即ち國民黨主義は、孫文の没後愈々勃興して、今や支那民衆大部分の頭を支配せんとして居る。

汕頭は、支那全國中、廣東に次で、眞先に此の國民黨主義に依る革命の洗禮を受けた土地である。建國東征軍總司令許崇智が陳炯明を追ひ出し、汕頭に青天白日旗を翻したのは、民國十四年三月七日、即ち孫文の死に先立つ僅か五日であつた。當時孫文は臨終の病床に在つて此の吉報を得、莞爾として微笑んだとのことである。汕頭占領は國民軍の初陣の手柄で、革命勃興の第一歩であつた。爾來汕頭は、政治的にも社會的にも思想的にも、將又産業經濟等あらゆる方面に涉り時代を劃した。

「新汕頭」は、即ち此の劃時代後の汕頭を紹介せんとするものである。方今、南方勢力の正體は、世論の焦點を爲して居る。本書は此の難問に深く觸れずと雖も、其の嘗めたる體驗の一部をも敘し、汕頭の一般的情況と共に編して「新汕頭」と題した。

「新汕頭」は、各般の事項に就き巨細を盡さんとするものではない。詳細なる専門的説明は他に譲り、唯短き南支航路の船中、波に揺られながら「ベッド」の上で汕頭概念を頭に入れ得る程度に止めた。文句は簡易通俗に就き、むづかしき文章を避けた。支那の事態は今や一日千里の勢を以て動いて居る。従て、所述中の最も生きたる部分は、直に古きものとなり終るであらうが、蓋し止むを得ざる所であらねばならぬ。

多忙なる公務と雑事の餘暇に依つて出来た副産物で、完璧を期し難きは素より其所、加へたい事や訂正したい箇所が隨所に出て来るが、手を入れ初めると限りがないから、目を潰つて茲に筆を擱く。是れでも新しき汕頭の事情を窺知する資料の一端ともならば、著者の満足不如之。

昭和二年四月

汕頭葱隴の樓上にて

著者 内田五郎 識

〔附言〕 著者の名を出したが、是れは全然個人としての執筆なることを茲に明かにして置く。

新 汕 頭 目 次

沿 革	一
特徴—邦人の渡來—日本領事館の設置	
地 勢	二
位置—氣候—暴風—背景地域	
人口と各國人勢力	三
支那人々口—外國人々口—各國人の勢力—各國領事館	
市内外觀	六
港灣—市内觀—市區路面改修	
居留邦人狀況	一〇
職業別—商社—居留民會—日本人小學校—東瀛學校—博愛醫院—日本人俱樂部	
政情と政治組織	一四
政情—政治組織—軍人と行政官	
國民黨と國民黨主義	一九
國民黨—三民主義—對内外政綱—露國との關係	
勞働運動	二三
政府の勞働者線縱—工會組織—排外運動と勞働者—資本家と勞働者—農民運動	
通商貿易	二六
貿易額—外國品と支那品—各國通商力比較—主要輸出入品—主要移出入品—日本との貿易品—出入船舶	

商 業……………二九

商勢—支那側會社商店—外人側會社商店—商業會議所……………三〇

工業—農業—牧畜—漁業—蠶業—鑛業……………三三

文化社會事業……………三七

新聞—學校—衛生醫療—教化事業—慈善事業……………三七

交通・通信……………三七

外洋交通—沿岸交通—河川交通—陸上交通—市内交通—通信……………三七

金 融……………四〇

通貨—銀莊票—外國銀行—支那新式銀行—銀莊……………四〇

南洋移民……………四一

旅館・料理店……………四一

族館—料理店……………四一

附近名邑……………四三

菴埠—華美—彩塘市—鶴巢—浮洋—楓溪—潮州—意溪—潮陽—揭陽—澄海—達濠……………四三

(附 錄)

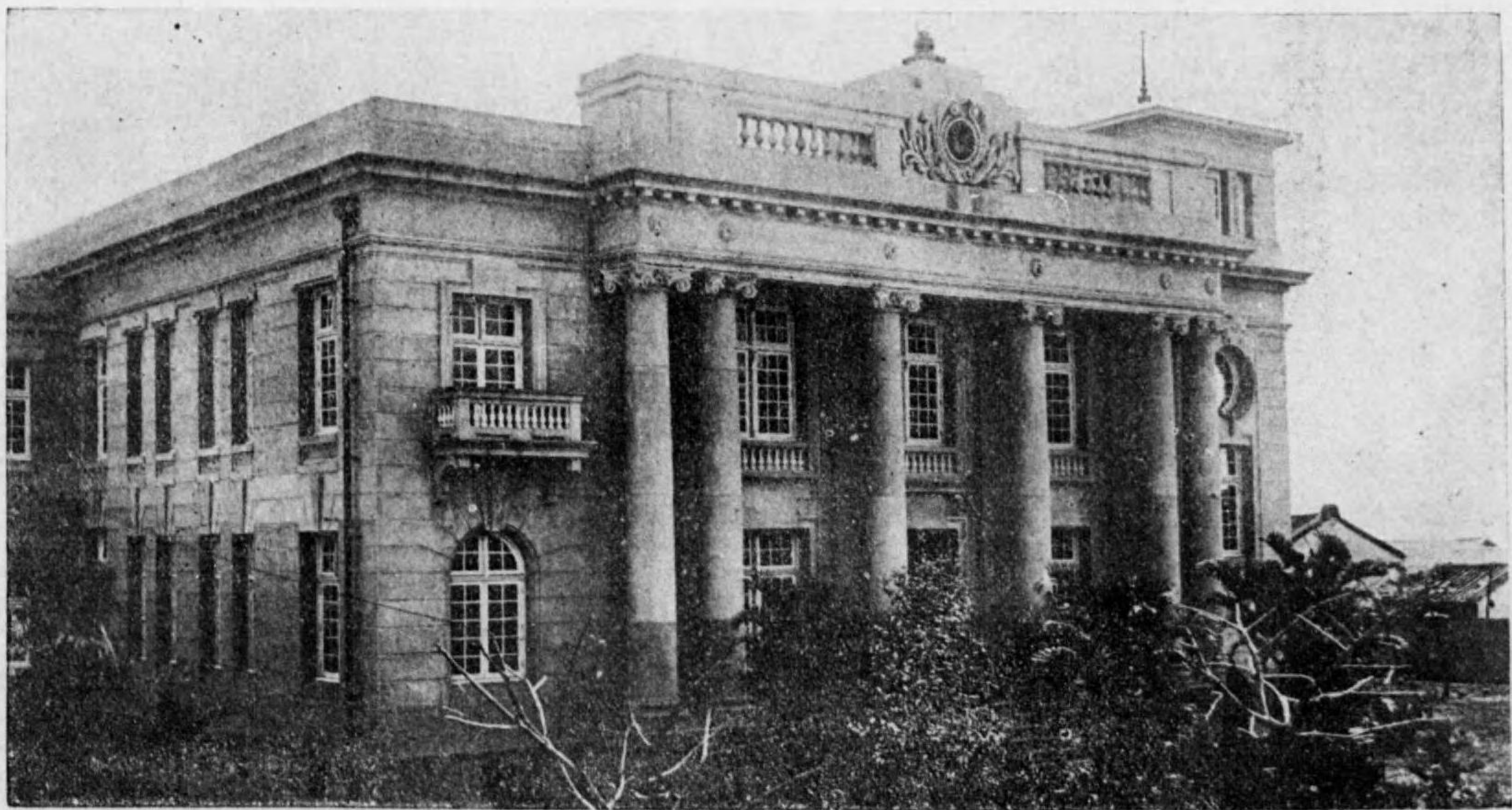
汕頭市街略圖—汕頭地方交通圖。

新汕頭

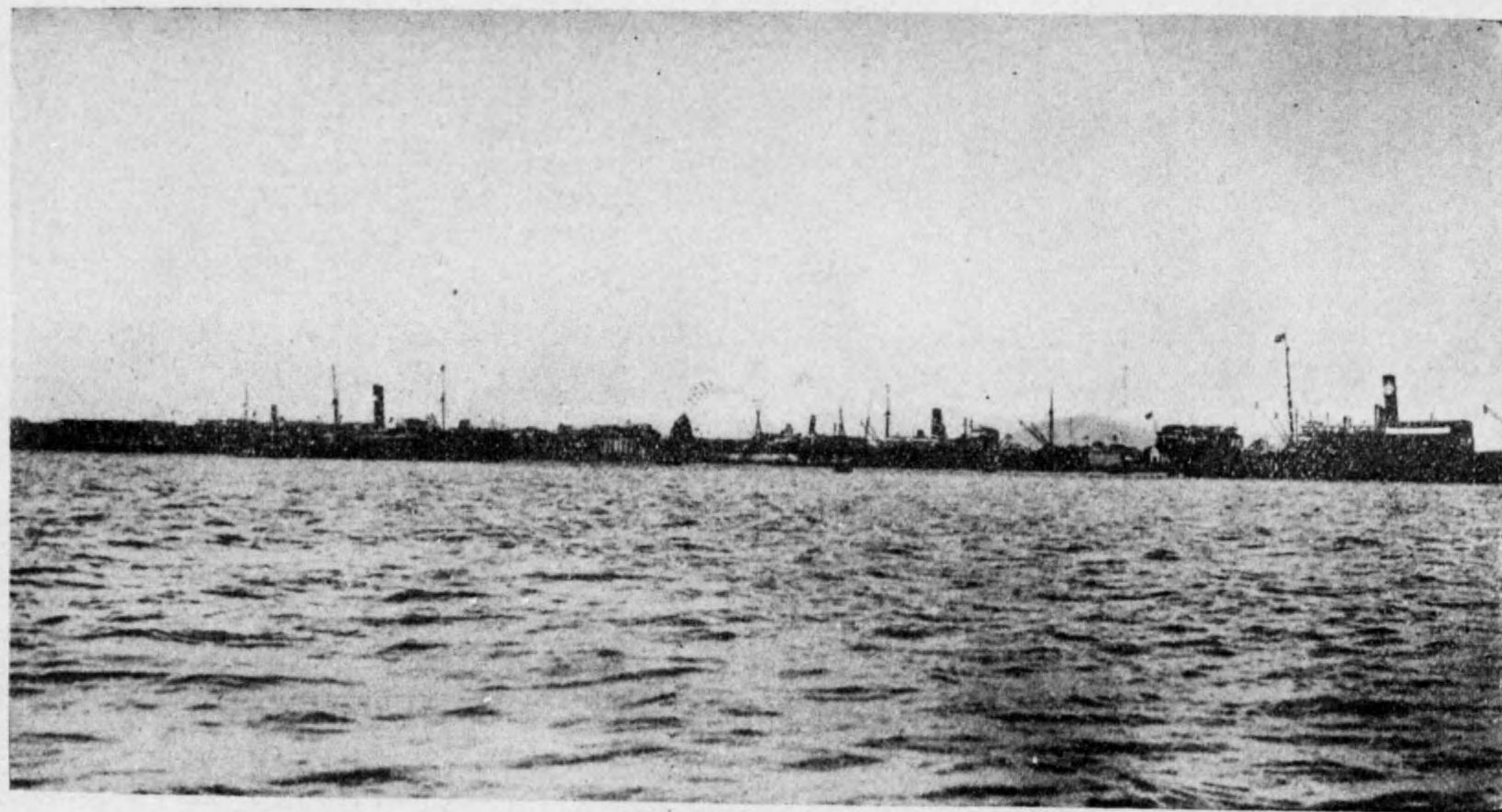
沿革

〔特徴〕 汕頭は南支に於て福州・厦門・廣東の諸港と並び稱せらるゝ開港場であるが、稍々其の發達の由來を異にして居る。福州・厦門・廣東は古往より港として存在し來り、阿片戰爭の結果一八四二年の南京條約に依り、上海等と共に最初に外國貿易港として開放せられたるものなるに反し、汕頭は往昔もなき一漁村で、外國關係としては、十數名の英人が港外の南澳島に居住し、次で港口の碼頭に移り、阿片貿易に従事し居たのが、廣東に起れる英船「アロ」の號事件に基き、一八五八年の天津條約に依り、潮州の名の下に開港せられ、一八六二年外人は居宅を角石に移し、一八六七年に初めて今の汕頭に事務所を設けたもので、爾來漸次住民殖え現在の汕頭なる港が出来たのである。従つて汕頭は、生れてから未だ七十年に足らざる青年港として、將來發展の望を囑せらるゝ港市である。

〔邦人の渡來〕 汕頭に本邦人の多く渡來し始めたのは、明治三十七年三五公司が潮汕鐵道敷設工事請負當時よりの事に屬し、爾來漸次臺灣方面よりの渡來者殖え、殊に兒童の教育機關や醫療機關の設けらるゝに至り、更に其數を増し、現在に於ては内臺人合計五百六十八人、戸數百八十に上るに至つた。



日 本 領 事 館



港内の船舶

〔日本領事館の開設〕 日本領事館は明治三十七年厦門領事館の分館として設けられ、明治四十年獨立の領事館となり、分館開設以來今日迄十一名の館長の歴任を見た。

地勢

〔位置〕 汕頭は廣東省の極東福建省界に接する澄海縣に在り、北緯二十三度二十分、東徑百十六度三十九分、厦門の南方百三十二哩、香港の北方百八十四哩の行程に位し、韓江河口平野の「デルタ」上に在り、南に良好なる錨地を控え、前面には岩丘崎嶇珍木繁茂の角石を眺め、其の間船舶の碇泊地を成し、幅約一哩、満潮時水深二十五尺乃至四十尺、満干の差三尺乃至六尺に及ぶ。港口に小島二つある。燈臺のある小さな島は「シュガローフ・アイランド」(Sugarloaf Island)と云ひ、内側に在る大きな方を「ダブル・アイランド」(俗稱碼嶼)(Double Island or Masu)と云ふ。

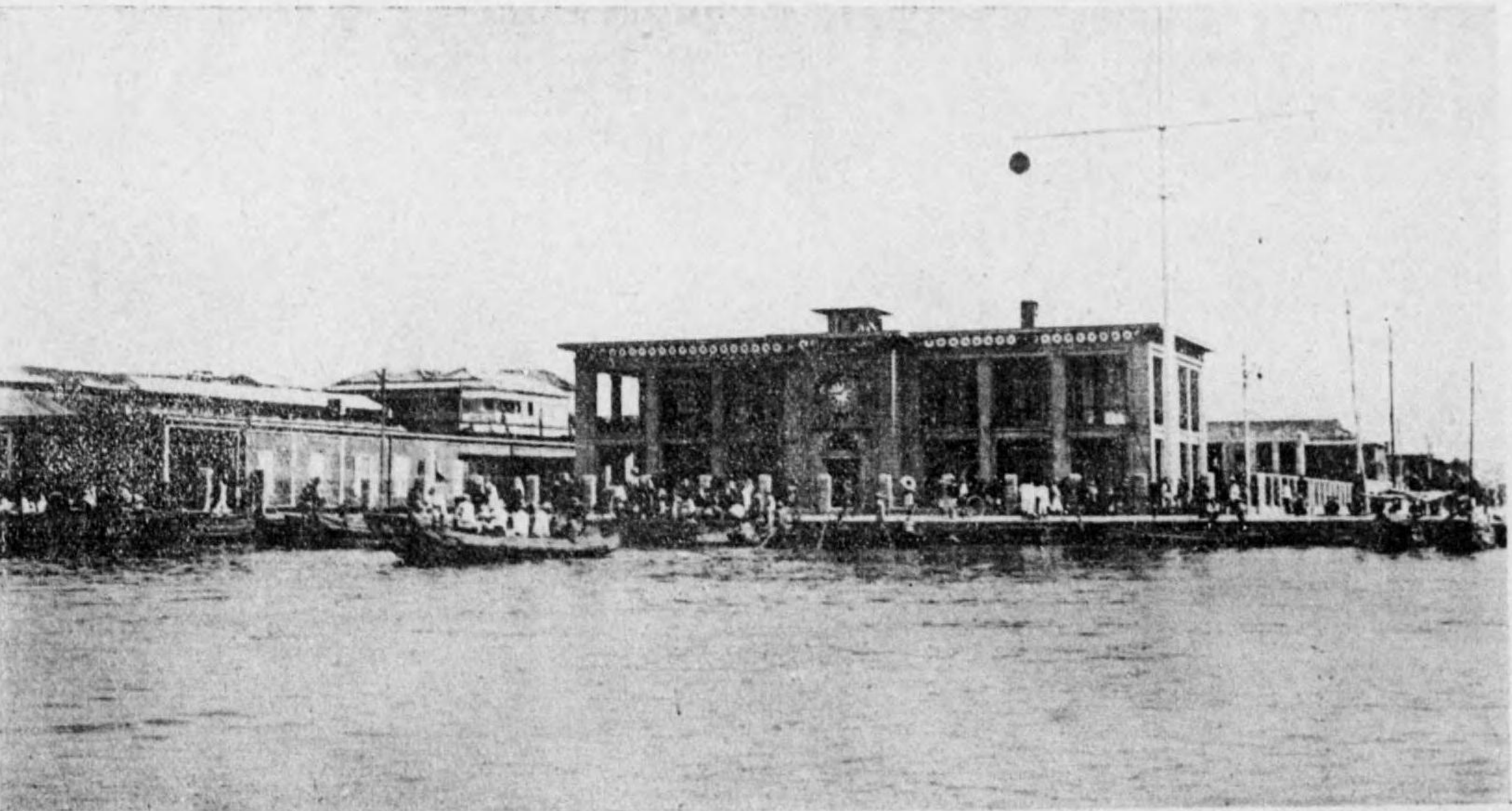
〔氣候〕 氣候は大體健康的で、一年中綠葉茂り花咲き、三、四月は春、五月から十月迄の半年は夏、十一月乃至二月は先づ日本で謂はゞ秋である。一月、二月は相當に寒いが、五十五度以下に降ることは稀で、「ストロブ」なくして凌ぎ得るから、冬とは云ひ難いかも知れぬが、當地では先づ冬として春夏秋冬ありと云ふ方が適切であらう。

〔暴風〕 暴風は汕頭の名物で、秋冬の間は一帶に東北の風強く、又八九月の交には年に二三回颶風の襲來がある。臺灣海峡を控える當港附近の航行は相當難航である。

〔背景地域〕 汕頭港の背景たる地域は、西は惠州より東は福建北邊に涉り、其の包容する住民千二百萬と註せられ、地味豊饒にして野菜果物等の農産物多く、又南洋移民の發足地として其の名高く、是等出稼人は二百萬を超え、其の郷里への送金額は年五千萬弗に達する巨額のもので、地方は是れが爲め有福なる生活を享け居るのみならず、政權者の収入も良好なる爲め、南支の寶庫として政權争奪の因を爲して居る。

人口と各國人の勢力

〔支那人々口〕 汕頭市の人口統計は完全を期し難く正確なる計数は素より判らないが、先づ十二萬と稱して大過なからう。併しながら其の附近には人口十五萬の潮州、十二萬の潮陽、十萬の揭陽、五萬の菴埠、三萬の澄海・達濠等の市邑相接近して散在し、陸路又は水路に依り一日で優に往復し得る地點に在り、何れも汕頭を中心として政治的及經濟的同一圈内に在るが故に、是等を一括して汕頭の人口五十萬と稱するを適切と信ずる。事實に於ても汕頭に働いて居る商人等は、家族を何れも附近郷里に置き、土



海關



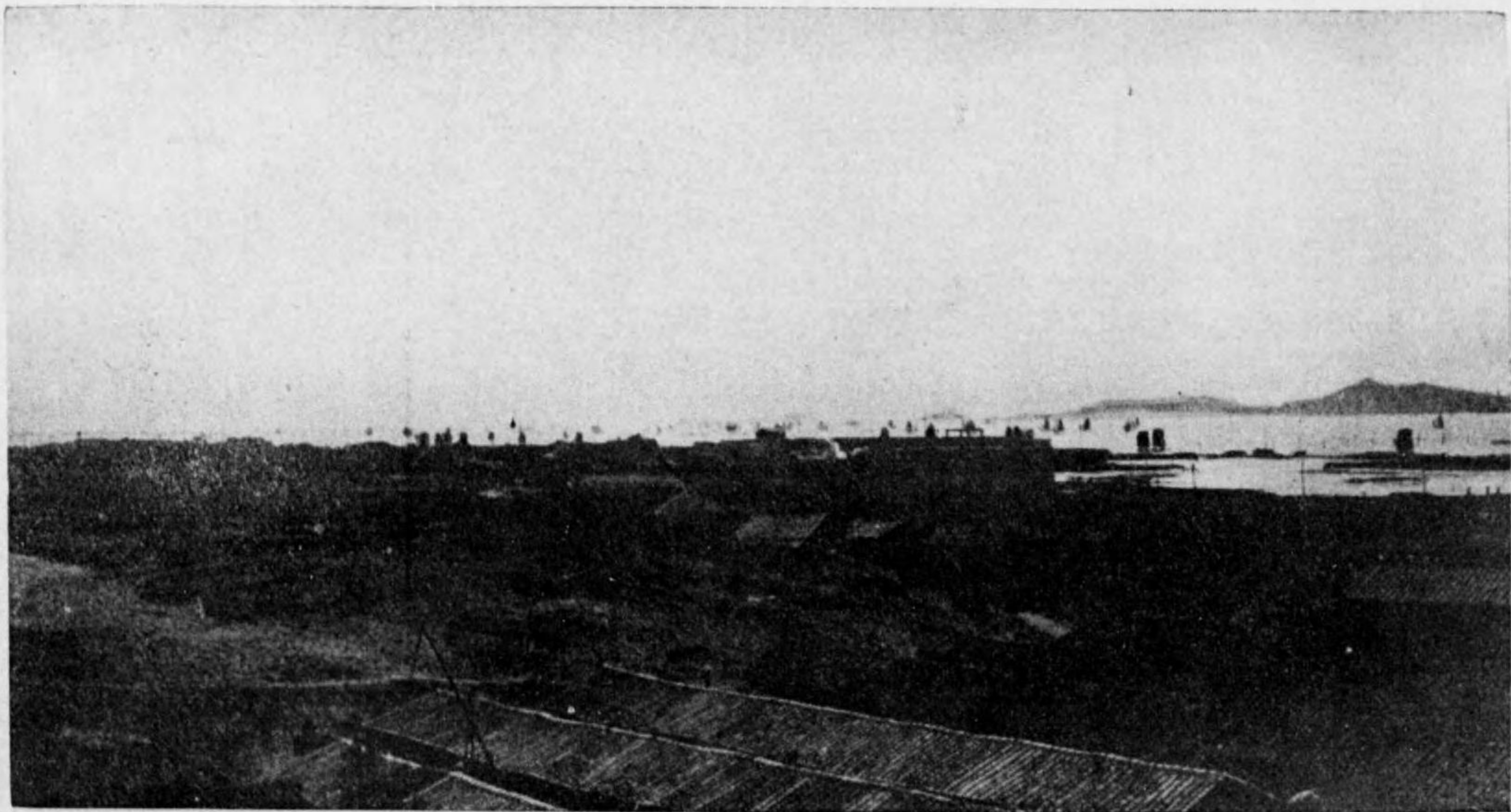
局 便 郵

曜日には多く家に歸る關係上、汕頭人口の男女の比例は甚しく女子の少數を示して居るのは、明かに附近市邑と合體せることを證明するものである。
〔外國人々口〕 汕頭市に居住する日本人其の他外國人は總數千人足らずで、其の中最も多いのは日本人の五百六十八人(内地人一七三、臺灣籍民三七七、朝鮮人一八)で、外國人總數の過半数を占め、第二位は英國人の百二十名、次で米國人の九十五名、其の他佛・葡・蘭・露・伊・獨等の諸國人は何れも十名内外に止まる。

〔各國人の勢力〕 人口上よりする各國の勢力は日本が最も優勢を占め、英・米之に次ぐ順序であるが、一般的勢力から觀るときは、必ずしも左様ではない。貿易・交通・運輸等の實勢力に於ける英國の勢力はまだ、根強く抜くべからざる地盤を有して居る。由來日本の對支勢力は朝鮮を根基とし、滿洲を主眼として發達し、漸時中部支那に延びたるもので、南支方面は頗る閑却せられて居た。反之英國の勢力は歴史的に南からジリジリに押し出し、北方に迄首を突込む様な鋭さで、其の對支勢力なるもの、頗る固いのは、支那開國史に照して見ても肯かるゝ所である。英國が健固なる基礎を有する南支に對し、今日日本が割込まんとするのは中々の苦心でなければならぬ。併しながら大正十四年夏に勃發した上海五卅事件及廣東沙基事件より波及したる排英運動の影

響は、實に甚大なるもので、其の及ぼす所唯に經濟上のみならず、在支英人の地位に對し危險なる龜裂を生じたのは誰しも否定の出來ない事實である。排英一年半後の大正十五年十月に到つて、對支經濟は辛くも恢復したが、一旦裂れたる地盤の修理は中々難く、其の勢力の盛返しは蓋し至難たるを免れまい。大正十五年の汕頭港貿易上に於ける各國の勢力は、暹羅二二%、香港一七%、海峽植民地一七%、佛領印度支那一四%、日本一二%、蘭領印度七%、英領印度六%、米國三%の比例になつて居るが、事實に於て日本の貿易力は二〇%以上たるべきのみならず、一般社會的勢力を一瞥するならば、各國中日本が第一番として擧げられよう。蓋し在留者數に於て過半数を占め、古い言葉ではあるが、同文同種能く支那人士と接觸し、相互の諒解を遂げ易きは日本人の強味であると共に、臺灣總督府は當地方に對し、支那人の文化的施設乃至日支親交の機關として、教育・病院等の施設に付、尠からず努力せらるゝあり、概括的に云ふて日本人が一番「ボビュラー」で、一番能き「フレンド」である。吾人の奮闘はやがて日本の經濟力の進展を促し、結局に於て日本が南支に於ても覇を唱ふるの時機遠からざるを信せんと欲するものである。

〔各國領事館〕 汕頭に於ける外國領事館は、日・英・米・佛・蘭・諾威の六國であるが、本國から領事を派



む 望 を 口 港 り よ 館 事 領



神州飲店より港内及角石を眺む

遣して居るは日・英・米・佛の四國で、其の他の二國は自國商人をして傍ら領事の職務を掌らしめて居る極めて不完全なものである。又派遣領事の内でも英・米・佛は領事の外に館員なく、僅かに支那人雇一二名を使用するに過ぎないが、日本領事館は領事の外、本國派遣の館員七名を有するのを見れば、其の事務の繁多なるを察し得べきのみならず、如何に日本政府が支那に對し、積極的活動を期し居るやを窺ひ得るであらう。各國領事館の所在地左の通り。

- 日本領事館 (明治三十七年開設) 崎嶇東端
- 英國領事館 (西曆一八六〇年開設) 畧石
- 米國領事館 (西曆一九〇九年開設) 崎嶇外馬路
- 佛國領事館 (西曆一九〇六年開設) 同前
- 和蘭領事館 (西曆一九二四年開設) 海關路
- 諾威副領事館 (西曆一九〇七年開設) 同前
- 獨逸領事館 (西曆一八七三年開設) 崎嶇外馬路

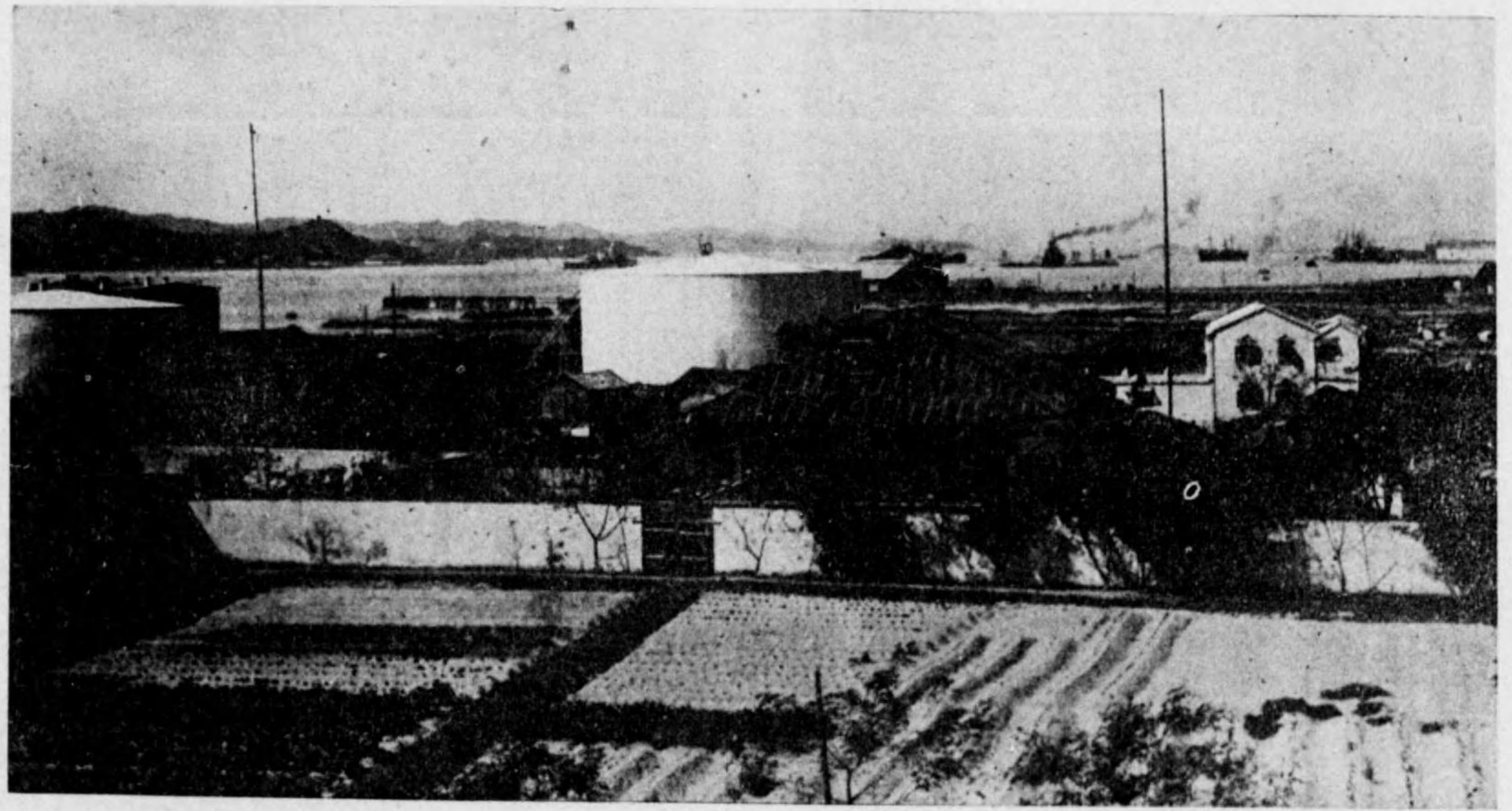
市内外觀

〔港灣〕 油頭に入る船は港外右手に當り空に聳ゆる南澳島を遠く眺めつゝ、港口「シユガローフアイランド」と角石岬との間の狹隘なる水道を通り、「ダブル・アイランド」を右に港内に進む。右舷を眺れば韓江三角州の沃野大陸的に展開し、遠く潮州沿道の諸山を望み、船更に進めば右岸に舊砲臺の殘骸がある。壁岸に打倒帝國主義と大書してあるのが夫れ

である。次で日章旗の高く翻騰する高樓は油頭第一の建物たる帝國領事館である。之に接して青壁の東瀛學校「スタンダード」石油及亞細亞石油の「タンク」に續く一帯は既に崎嶇で、米・佛領事館・潮梅警備司令部・油頭ホテル・博愛醫院・市政廳・天主堂・日本人小學校・日本居留民會・日本人俱樂部・其他邦人及諸國人の住宅地帯である。船は税關前面の浮標に著く。右方に大古洋行・招商局の棧橋・倉庫・「ボート・ハーバー」・税關・貨物検査場・大古洋行及怡和洋行の浮橋・倉庫等揃列し、港灣の中心地を爲して居る。左舷を望めば崔嵬たる角石半島近く港内を壓し、怪岩奇石珍樹の間英國領事館・税關官舎・角石中學・外人大班公館の洋館散在し、住宅地として格好の地たるを思はしむる。併しながら此の角石は定期「フェリー」なく、電燈・水道・電話の便を缺き、日用品の供給不便なるは玉に瑕で、先づ浮世を避けたい老人達の避暑地に過ぎまい。若い新しき油頭には準租界の如き角石は寧ろ有害無益である。油頭港灣税關の下流招商局倉庫と「スタンダード」石油會社との間は、廣い淺瀬を爲し、干潮には砂面を露出して居る。此の部分は將來油頭港發展の爲め、缺くべからざる船著場及倉庫の豫定地で、民國七年頃から時々埋立の計畫があつたが、政局不安定の爲め未だ著手に到らない。惜んでも餘りあるものである。埋立豫定面積は、五萬八千六百七十七方丈即ち十五萬坪、



永平馬路の雜踏



望展内港りよ館事領

其の接水延長約一萬六千百呎に達する。最近支那側で獨力理立の計畫を進めて居る。果して出來得るかは大なる疑問であるのみならず、此の理立地は遊園地として、棧橋や倉庫の建設を許さないような。如何にも形式的な支那人の氣風が浮んで居る。

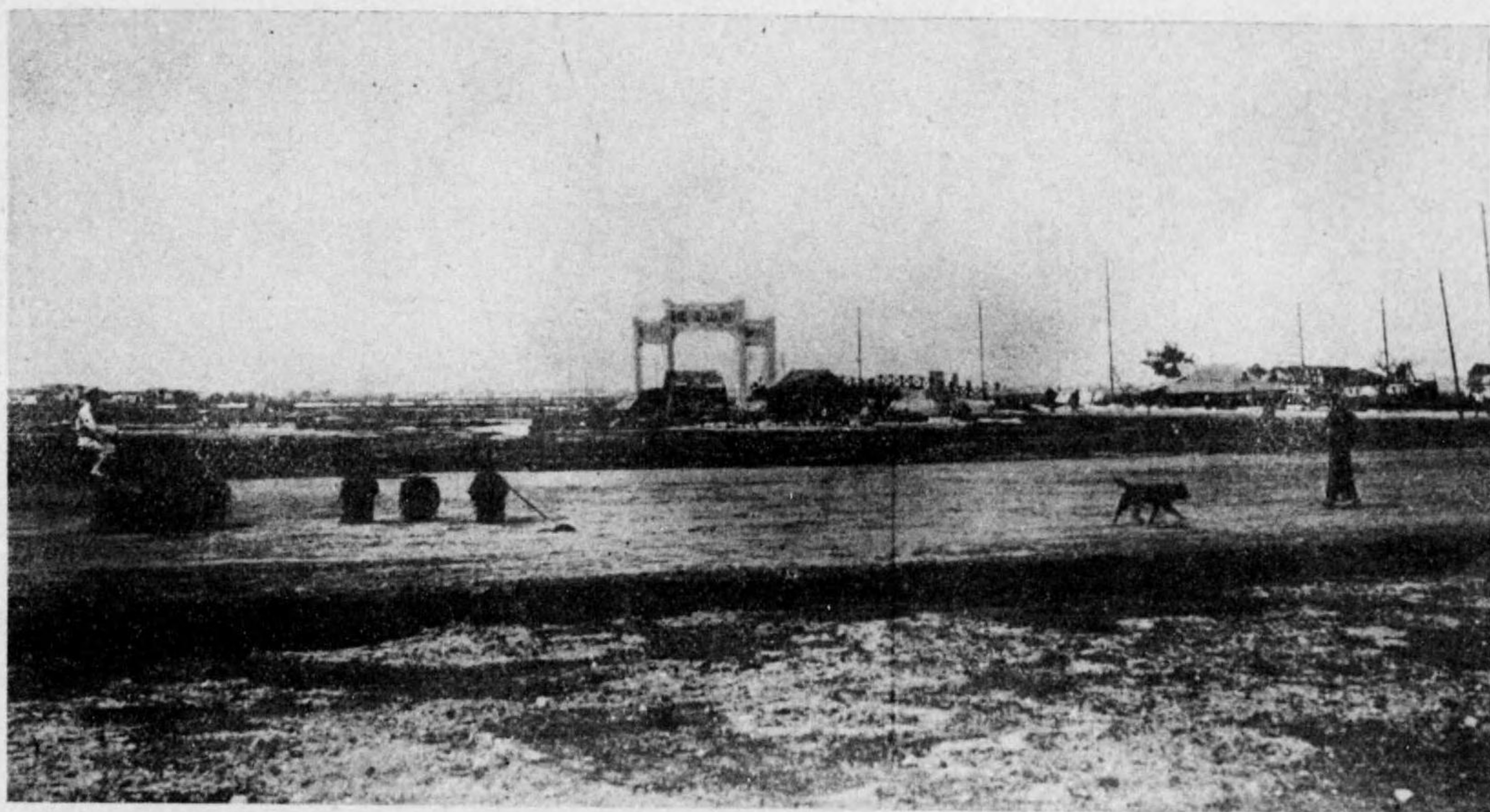
〔市内觀〕 船の舷側に集まる貧弱なる舢舨を雇つて税關埠頭に上陸し、税關を左手にして歩を進むれば、斜右手目近くに地方審判廳と檢察廳の上空に聳ゆる無線電信臺(近く一般の使用に公開せらるゝ等)を眺めながら左折海關馬路に出る。此の通には大阪商船・幸阪洋行・大和藥房・山口洋服店・國信洋行等の邦商や和蘭・諾威の兩領事館事務所・和蘭安達銀行等軒を並べて居る。右方に歩を移さば美しい庭を前にした新築の汕頭郵便局(局長外人)の前に出る。局前から更に左折すれば、汕頭第一の料理店永平酒店と廣東銀行「ビルディング」(三階は邦商神州飯店)の大厦兩側に相對して最も殷賑なる「メンストリート」永平馬路の關門を作る。此の幹線たる永平馬路の兩側に、百足の脚の如く延びたる街路は、大小店舗を以て聯接し、殷賑限りない。永平馬路の高樓中入口に白金巾の暖簾を垂れ邊防經費某々公司と書いた看板を出して居るのが、最も新しかるべき廣東國民政政府の特許せる公開賭博場である。如斯賭場が軒を並べて繁盛し、其の税金は政府の收入に爲るので、汕頭のみで先づ年に三十萬弗に達するとのこと

である。賭博場から出て前進、昇平馬路との交叉點を左に行けば、臺灣通ひの戎克船の集合地、前面は韓江河民船の泊場、右に進めば昇平馬路で、廣東中央銀行支店も此の街にある。終點角が警察本署即ち公安局で、此の處で海關馬路から延びる外馬路に接合することになる。外馬路を右に行けば、三隣公司や臺灣銀行を経て郵便局へ出る。左へ行けば英國の福音醫院・存心善堂・商業學校・天主堂・日本居留民會・日本人小學校・日本人俱樂部・市政廳・博愛醫院・汕頭「ホテル」・交渉署・米佛領事館・潮梅警備司令部等散在して居る。此道路は民國十五年に出來た新式の大通で、司令部から新大道路を進めば、右に見ゆる青塗の建物は日本の東瀛學校、其の先を右に行けば日本國旗の飄る莊麗なる我帝國領事館に到着する。日本領事館は二十萬金を投じて大正十一年秋竣工した「コンクリート」造の汕頭第一の建物で、支那に於ける日本領事館としても稀に見るものである。領事館屋上庭園に上れば、汕頭港灣及市街は勿論、對岸角石・潮汕停車場・潮州沿道の諸山皆一眸の下に集まる。此の附近は市の東端になつて居るが、漸次學校・官廳・其の他の人家が殖え、數年の内には立派な住宅地となるであらう。

〔市區路面改修〕 汕頭は比較的若い新しい市であるが、其の市街は舊支那式たるを免がれない。大正十年時の市長が其の整理に志し、東京高工出身の支那



通新の街安至



園公山中と路馬山中

青年技師を採用し、大規模の改修案を作り、商業・工業・住宅・官衙の四通に分ちたる理想的都市建設計画を立て、爾來其の完成に努め、殊に國民政府の支配に移して以來其の進行中々速かで、商業區域の「メンストリート」たる昇平馬路・永平馬路・至安街等は既に六十呎乃至八十呎の堂々たる「タタキ」路面に修築せられ、又崎嶇大通外馬路及中山馬路の修理も急速度を以て進行し、街路の面目日に日に新まりつゝある。やゝ大體に於て汕頭は、道路も清潔で明るく氣持よく、支那街としては珍しい都市たるの定評を得て居る。二年前から自動車も通り、現在では二十臺もあり、近く乗合自動車も動き始める筈で、先づ汕頭も大分發達したものである。

居留邦人狀況

〔職業別〕 汕頭に於ける居留邦人は、内地人百七十三、臺灣籍民三百七十七、朝鮮人十八、合計五百六十八人（戸數百八十）で、年々堅實なる發展を續けて居る。是等居留邦人が如何なる風に仕事を營み居るかと云ふことは、大體左表に依れば判明する所であらう。

職業別	本業者	家族
官吏	八	一九
教育家	一〇	二二
稅關員	四	二
貿易商	一八	五〇
旅館業	四	一四

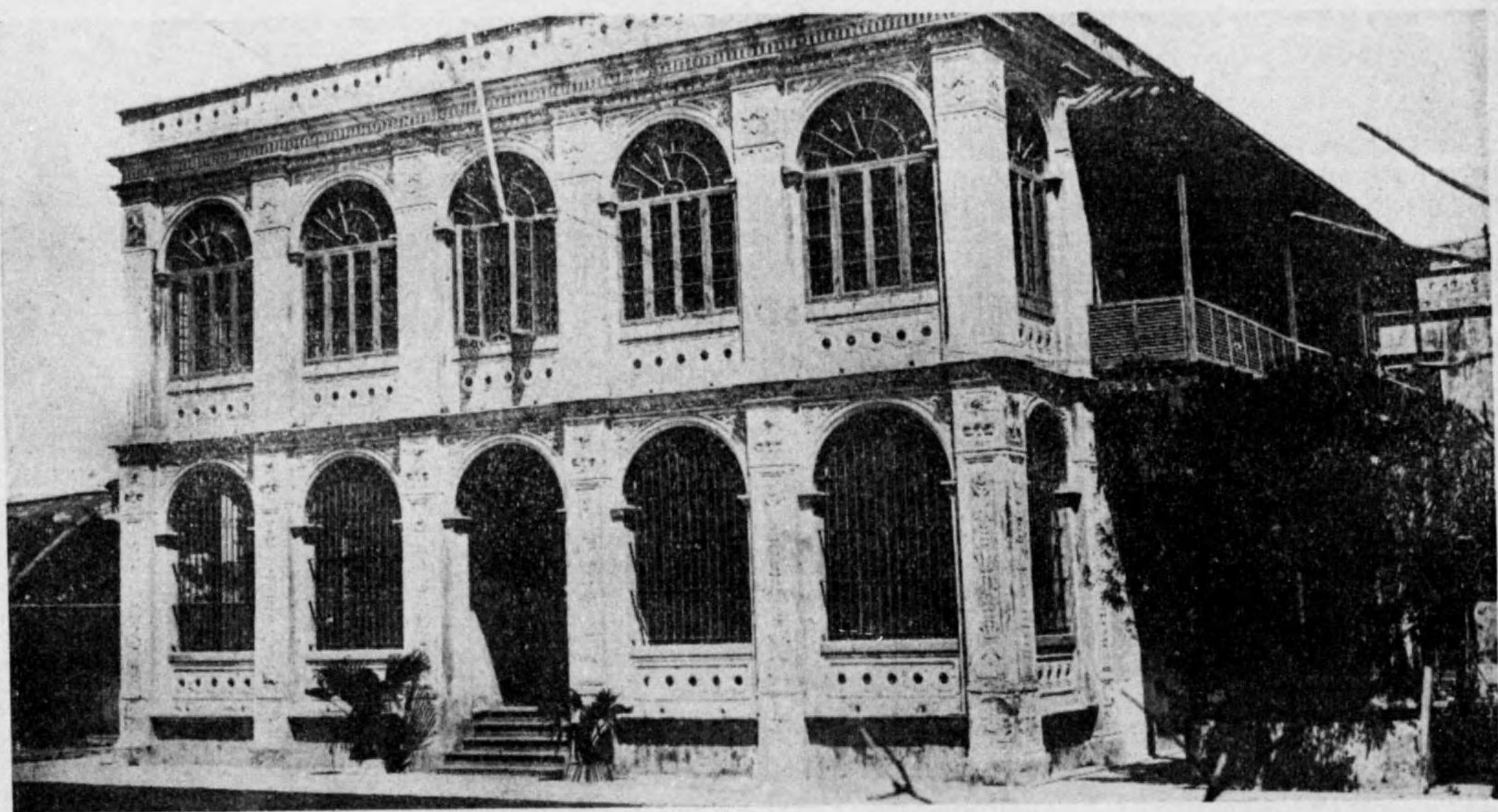
貿易商	一八	五〇
旅館業	四	一四
銀行業	六	七
海運業	二	四
醫師	三	九
商店業	一	三
藥店	一	三
雜貨店	四	一
雜貨店	三	三
製菓店	三	三
吳服店	三	三
煙草店	二	三
鐵道從業者	三	二
行商	一	四

右表は大體を示すもので、其の外にも色々あるが、少數の職業に付ては便宜之を略した。
〔商社〕 居留邦人の經營して居る會社・商店の主なものは、内地人側十五、臺灣人側二十五、合計四十内外である。主なるもの左の通り。

商號	營業種類	店主又は代表者
臺灣銀行	銀行業	貴志 政亮
大阪商船會社	船業	森 喜一
前田洋行	雜貨輸入業	長尾 春原
幸阪洋行	雜貨石炭輸入業	幸阪 通介
汕頭旅館	旅客業	山口 菊松
山口洋行	洋服業	同 前
廣貫洋行	賣藥雜貨保險代理業	高林義三郎
日華洋行	雜貨、藥種輸入業	山本 泰造
比留多洋行	船舶代理業	蛭田國之助



通大の街平昇



校學小日本日

葉平	德美	劉美	乾記	廣源	謙源	三華	秋記	裕泰	自成	臺阪	國信	建茂	謙桂	萬源	華源	華安	神州	義利	明發	神州	大和	三麟	大成	正成	泰利	日龍	三井	
豐司	洋行	泰號	公司	洋行	洋行	洋行	洋行	洋行	洋行	洋行	洋行	洋行	洋行	洋行	洋行	永公司	旅館	飯店	洋行	洋行	藥房	公司	洋行	洋行	洋行	洋行	出張所	
反物、雜貨、酒精	酒類、石炭輸入	苧麻業	礦山加工業	茶業	輸出、糖蜜、陶器	海產物、染料輸入	酒類、雜貨販賣	藥品輸入	機械、雜貨、化學	海運業	刻煙草製造	藥品輸出入	海產物雜貨輸入	海運及貿易	糖蜜、酒精輸入	製氷業	同業	旅館業	糖蜜酒精輸入	煉瓦雜貨輸入	酒、煙草販賣	藥種販賣	輸入、海產物雜貨	業、草輸出	雜貨、酒、煙草販賣	海運業、貿易仲次	商況調查	
葉自得	周光	蔡雪	劉既	王振	陳廣	何鳴	蕭金	林芝	余圓	蔡文	洪神	徐煌	張河	楊漢	陳輝	王田	同前	饒維	潘助	劉明	饒維	簡永	羅炳	羅萬	古林	妙中	野澤	松平
																												定敏

〔居留民會〕 在留邦人全體の公共事業處理の爲め設けられた、一種の公共團體で、領事館令に依り在留民全體を以て組織し、領事の監督の下に課金月五十仙以上十二弗以内を徴收し、之を主なる財源として公共事項を處理するものである。現在の主なる事業は日本人小學校及東瀛學校の經營、墓地の管理、其の他の種々の一般的公共事項である。汕頭の民會に付て特筆すべきは、南支の内福州・厦門等臺灣人の居住する所に於ては、民會は内地人のみの機關とし、臺灣人は別に臺灣公會なるものを作り、内臺人各別になつて居るが、汕頭では内臺人相合して民會を作り、相合致協力して圓滿なる團結を實現し居る點である。

〔日本人小學校〕 大正四年四月に創立せられたる日本内地人子弟初等教育機關で、民會の經營に屬し、相當立派な校舎を有し、教員三名の中二名は臺灣總督府から派遣せられ、他の一名丈け民會の直接採用になつてゐる。民會課金收入より支出する經費の外、領事館から収入手数料の一部を下附せられ、又臺灣總督府及外務省から毎年尠からざる補助を頂戴して居るのは、在留邦人の常に感謝措く能はざる所である。現在兒童二十數名。

〔東瀛學校〕 日本人小學校と對立して臺灣籍民子弟の初等教育を主眼として、大正四年創立せられたもので、教員内地人二名及臺灣人五名は臺灣總督府か



校學瀛東



院 醫 愛 博

ら派遣せられ、経費は民會支出の外領事館下附金及臺灣總督府の補助金に依る。目下臺灣籍民子弟以外多少の支那人子弟をも收容する。在校兒童現在二百五十名。

〔博愛醫院〕 大正十四年二月創立。基本金數萬圓を有する財團法人博愛會の經營に屬し、經費の不足額は臺灣總督府より補助を仰ぎ、以て在留邦人の衛生保健診療の外、日本の對支文化施設及日支親善の使命に努力して居る。

醫師 二 藥局 二
助手 三 事務員 三
看護婦 五 病室 三〇

〔日本人俱樂部〕 會員六十餘名。大正十四年一月日本人協會が居留民會に改組せられた際獨立したもので、小學校構内の一平家を借りて之を使つて居る。もう少し氣のきいた建物を欲して居るが、財源がないので中々實現困難。目下球臺二臺・庭球部（領事館「コート」借用）・圖書部・碁・將棋・麻雀・酒保等の設備を有する外、遠足會や水泳會を時々主催して、邦人の娛樂親交に努めて居る。

政情と政治組織

〔政情〕 廣東省は支那革命の根源地にして、孫文は明治二十八年以來、前清朝に對し革命を企て、幾回となく旗揚げを試みた歴史を有する地方で、既往より

外國人に接近し居たる關係上、地方民は新思想に觸れ新取の氣象に富み、北支の地方民とは餘程趣を異にして居る。

孫文一派の支那革命が、明治四十五年武昌に於て奏效し、中華民國と爲つて以來、當地方は幾回となく政府者を代へ、大正十二年春以降陳炯明の地盤となり、孫文と相對峙するに至つた。大正十四年初春陳炯明は、廣東奪取の野心を以て兵を東江に進め、石龍附近迄押し寄せたが、廣東軍總司令許崇智の爲め散々に打ち破られ、三月七日汕頭は許崇智軍の占領に歸した。許崇智の施設三箇月にして、同年六月楊希閔一派が廣東に於て事を擧げたので、許崇智は陳派と妥協し、兩派に於て合同政治を執ることとして廣東に引き揚げ、代表を當地に残して陳派代表と商議せしめたるも、根本に於て氷炭相容れざる兩派の妥協は素より望み難く、果せる哉九月十五日陳派代表劉志陸は許崇智代表を追拂ひ、赤化防止・共產撲滅資本家擁護の旗幟を押し樹て帥を起し、兵を惠州方面に進めた、蔣介石の率ゆる精銳なる學生軍に紛碎せられ、敗退に敗退の醜態を演じ、十一月四日汕頭は確定的に再び廣東軍の掌中に歸し、爾來當地方は廣東國民政府の治下にある。

更に大正十五年八月廣東軍は北伐の帥を起し、湖南より湖北に入り、武漢の地を略し、江西を其の圈内に巻き込み、意外の成功を収めたので、孫傳芳は



部 令 司 備 警 梅 潮



公安局

之を牽制する爲め、福建督軍周蔭人をして閩南から當地方の侵略を決行せしめたが、十月八日より十日に至る閩粵境の戦争に於て、廣東軍第一軍何應欽の部隊に散々に遣り付けられ、周蔭人は手兵數百を率ひて命からがら逃げ出し、福建軍は總崩れに崩れ、福建第一師張毅は降服、周蔭人は浙江に逃げ落ち、廣東軍は破竹の勢を以て福州を陥れ、今や杭州より上海方面に進みつゝある。殆んど向ふ所敵なしとは此事であらう。

〔政治組織〕 陳炯明施政時代及廣東軍古鎮當時は、矢張り軍閥流に最高軍將が一帶の政治を司つてゐたが、其の後廣東國民黨政府は軍政と民政とを確分する政策を執り、且つ當地方の政權稍や確立するに至つたので、十五年二月より、革命軍第一軍長何應欽が惠潮梅各屬綏靖委員として惠州以東の最高軍權を握り、民事は東江各屬行政委員なるもの設けられ、最高行政權を握つて居たが、綏靖委員は十月中廢止せられ、潮梅警備司令之れに代り、又行政委員は其の職權が兎角地方官廳の夫れと抵觸し、面白からぬ事情があつたのと、國民黨政府が當地方の政局を一つ先づ整頓したるを以て、地方自治制の精神に則り、市及縣を以て統治の單位とし、之を省政府に於て直接監督することとし、行政委員は今年十一月末を以て廢止せらるゝに至つた。國民黨政府は尙進んで地方自治の精神に副ふべく、市政及縣政を委員制に改

革する方針で、近く實現するかも知れない。
現在の主なる支那側官廳は左の通りである。

- 潮梅警備司令部 崎嶇外馬路
- 潮海關監督兼汕頭交涉員公署 同
- 廣東省財政廳潮梅支處 育善街元興巷
- 汕頭市政廳 崎嶇外馬路
- 汕頭市公安局 同
- 潮梅鹽務支處 海關路
- 汕頭郵局 同
- 汕頭電報局 衣錦坊
- 汕頭堤工處 新康里
- 韓江治河處 崎嶇外馬路
- 東路公路處 同
- 汕頭內地稅局 育善街
- 潮海關 稅關碼頭
- 汕頭常關 老天後宮
- 澄海地方審判廳 稅關東側
- 澄海地方檢察廳 同

〔革命軍人と行政官〕 廣東國民革命軍が、大正十四年春以來廣東省の統一に成功し、十五年八月北伐軍を出陣し、半年の間に於て湖南より湖北に進み、武漢の地を略し、更に九江を陥れて江西・浙江を其の圈内に巻き込み、江蘇に進み、南方に於ては當地方潮梅一帯の廣東軍は一舉にして福建軍を擊破し、漳州を攻め落し、廈門海軍を降服せしめ、更に福州城を陥れ、浙



革命軍兵營

江に進んで、上海方面の急先鋒になつたと云ふ状態で、楊子江以南は一と先づ廣東軍のものと略ぼ相場が極まつた。此の意外なる成功は數箇月以前に於ては誰しも豫測せなかつた處である。是れ蓋し世人の豫想以上の番狂せでなければならぬ。廣東軍が如何にすれば斯くも美事なる勝利と成功を博し得たのであらうか？。人或は曰く露國と露人の援助なりと。勿論露國露人の援助のよつて力あるの事實は明かである。然しながら其の外に或る偉大なる直接の力の存在するのを見逃す譯には行かない。即ち蔣介石の率ゆる革命軍士卒の懐く國民革命に對する信念と理解が其の直接の力でなければならぬ。蔣介石が孫文の命を帯びて大正十二年露國に赴き、親しく露國の内情を探求し、露國の援助を求め黄埔軍官學校を作り、自ら校長として青年を集め露國の資金と人的及物的援助を得て革命軍將校の養成に努めた。其卒業する青年軍官既に數千、革命軍の青年幹部何れも其出身者ならざるはない。而も黄埔軍官學校たるや一個の武辨養成所ではない。革命的精神を吹き込み孫文の大精神を注ぎ込む軍事政治學校である。此新しき青年將校が卒業と共に各軍隊に入り、兵卒に對し中國の革命・帝國主義打倒・不平等條約撤廢・軍閥打破・資本家打倒其他孫文主義の大精神を鼓吹する。従て國民革命軍なるものは戰爭の理由を解し、戦ふべき信念を有し、悉く國民革命の爲めに生命を

曝け出して戦ふと云ふ偉大—支那として—なる信念を有して居る。舊軍閥者流が私利私慾の爲めに職業的兵卒を使ふのとは全く其の趣を異にし、廣東軍が常に豫想外の成功を齎らす第一の原因である。又廣東國民政府及其の軍隊は民衆の後援を「バック」として居る。孫文の遺囑にもある如く、「民衆を喚起し」なる言葉の民衆なるものは、國民の最多數たる労働者と農民を指稱するものである。即ち國家の政治を行はんとせば、國民の最多數を背景とせなければならぬ。而して民衆の大部分なるものは少數の政客とか資本家ではない。労働者と農民である。此の二つの民衆を懐き込むことが必要であると爲し、其の間政治部の宣傳活躍に依り、民衆を繰繰し以て之れを引き附ける。勞農階級は孫文の輩下なる革命政府及軍隊を尊敬し、之れを支持し、政府及軍隊の行動を援助し、多大の貢獻を爲して居る。例へば舊軍閥は、民衆を虐ぐるが故に民衆は舊軍閥の來るや直接に其の行動を妨害し、或は罷工罷市を以て間接に之れを妨げ、軍隊の行動に阻害を與ふるに反し、革命軍に對しては土地の案内、食料品の供給運搬、荷物の輸送等に付き、極力援助するから、地方に於て大軍を動かす上に於て、非常な助力となるのみならず、學生は宣傳員として宣傳に努むる等、舊軍閥の及ばざる特色を有する。如斯は從來舊軍閥の爲せる所、其の處を誤り、民衆を顧みずして獨り私慾を逞ふし

民衆の同情なかりしに反し、廣東軍は民衆の大部分たる勞農階級に能く「アッピール」し、且つ其の説く所誰しも鋒を向け得ざる理論的強味と眞理を有するに依るものでなければならぬ。大體に於て國民政府の軍隊は、支那の軍隊としては出色のものであるが、他方行政官になると餘程品質を異にし、頗る見劣りがする。所謂支那一流の「コンミッション」制度は之を嚴禁する國民政府内に於ても盛に行はれ、又労働者に繰繰せられ、正當なる職務を執るの力がない。行政官然り。司法官亦然りである。國民政府の革命は蔣介石の率ゆる黄埔軍官學校が中堅である。然るに行政官乃至一般文官方面に於ては、軍官即ち武官の如く清き美しき訓練を齎らす所の養成機關がない。従て文官は武官に比し著しく劣り、僅かに舊軍閥文官に比し少しく優れるに過ぎない。革命途上にある支那は現に軍人の需要と必要が痛切である。然し更に進んで行政的地歩を固めなければならぬ時に到つては、現今の如き行政官では甚だ心細い。黄埔軍官學校と對立する文官學校を設け、堅實な文官を養成しない限り、國民政府も武官に壓迫せられ、再び軍閥となり終らぬとも限らないと云ひ得るであらう。

國民黨と國民黨主義

〔國民黨〕 國民黨なるものは、近代支那の大偉人たる孫文の作つた政黨であることは三尺の童子も御存

じであらう。國民黨の組織は能く整頓して各地方に喰ひ入つて居る。汕頭に於て見ても、市中隨所に國民黨汕頭市黨部第何區なる看板が方々に見られ、而も其看板は多く官廳や學校の看板と左右相對して掲げられて居る。當地公安局・市政廳・交渉署・商業學校等は何れも區の本部に爲つて居る。是れは恰も勞農露西亞の勞農政府と共產黨との關係と全く同一。露國の勞農政府と露國共產黨とは一心同體のもので只一つが政府と政黨とに分たると均しく、國民政府と國民黨なるものは一心同體である。政府として爲し得ざることは黨として働き、黨の公的働は政府である。大正十四年排日英運動當時に於ても、罷工團の行動なり、國民黨の主義なりと逃げ、以て國際的責任を免れたるは、其政府と政黨との使ひ分けに外ならない。

〔三民主義〕 國民黨の第一の「プラットフォーム」は孫文の三民主義を奉じて、中國の革命を遂行するに在る。三民主義 (Three Peoples Doctrine) とは孫文の案出したる「ドクトリン」で、現在支那民衆の精神と頭腦とを左右せんとする偉大なる勢力を有する學說である。三民主義とは民族主義・民權主義及民生主義の民の付く三つの主義から出來て居る。民族主義は素と孫文が滿洲朝廷たる清朝を倒さんが爲めに唱えた處のもので、支那は五族即ち滿漢蒙藏・回の五族打て一丸と爲り、國家を形成すべく、滿族

のみを以て政府を獨占すべきものではないと云ふ思想であつたが、辛亥革命に依り清朝を倒し、次で歐洲大戰後の民族自決等の思想の影響を受けて、其思想は頗る廣くなり、現在に於ては弱少民族の自由解放、被壓迫民族の獨立より更に男女同權迄進んで居る。此の主義思想は日本に於ても朝鮮・臺灣等の新附の領土統治上餘程考へなければならぬ所である。

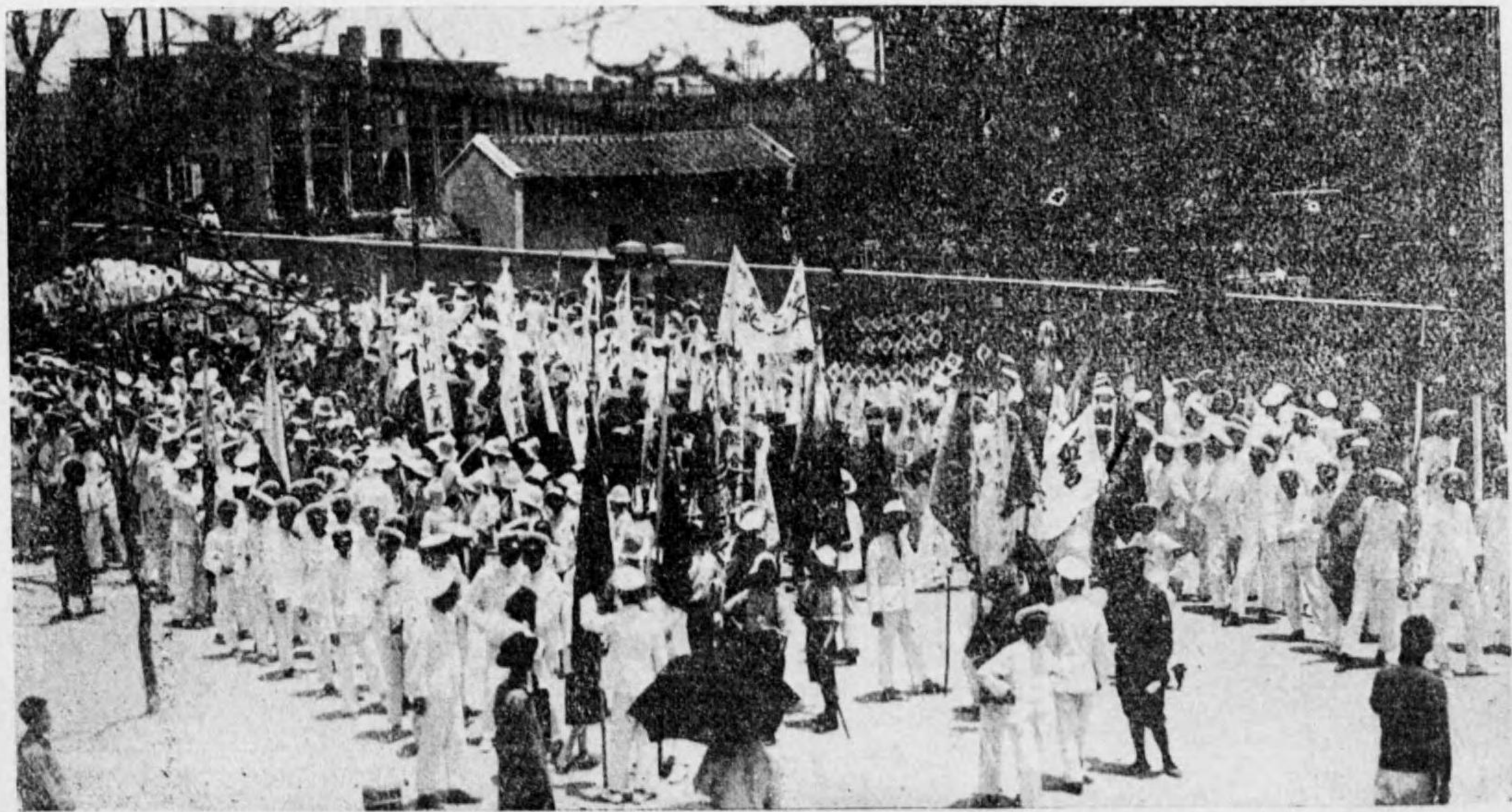
民權主義 とは國民の統治權なるものは、元首にあるものではない、一般國民に在るものであると云ふ思想であるが、其程度が頗る強く廣い。民權を分ちて直接民權と間接民權の二とする。**直接民權** は選舉權・創制權・複決權・罷免權の四權に分たれる。選舉權は元首的利益を代表する官吏議員又は資本階級代表の資本主義的官吏議員を排斥して、官吏議員をして人民の利益を代表せしむる爲め、人民の直接選舉とし、選舉者及被選舉者は均しく財産を以て其資格としないと云ふ思想である。創制權とは、國家運用上の種々の制度は人民の利益に基くものであるが故に、此種創制權を人民に屬せしむべしとするものである。複決權とは、國會に於て議決したる事項と雖、猶玉石混淆であるが故に、國會決議案は更に人民の重複表決に附すべしとする思想で、罷免權は官吏の溺職は弊害大にして、國會又は地方議會に委すべきものではない、宜しく人民に於て罷免すべきや否やを決せなければならぬと主張するものである。次に間

接民權 は即ち五權憲法論である。現在立憲國に於て行はるる三權分立論を基礎として彈劾權を立法權より取り去り、官吏任命權を行政權より奪ひ、此の二權を獨立せしめ、三權に加えて五權分立とせんとする思想である。孫文は此の五權を立法權・司法權・行政權・考試權・監察權の五とした。立法・司法・行政は別に説明を要しない。残りの二つ即ち考試とは官吏任命、監察とは官吏彈劾である。是等五種の權力を間接に人民に與ふる。即ち行政は各縣人民に於て大統領を選舉して行政院出來、立法は各縣人民に於て代議士を選舉して立法院成り、其の他の考試・司法・監察權は大統領に於て立法院の同意を得て各長官に委任して施行せしむると云ふ事になつて居る。

次に民生主義 是は三民主義に共産的學理を含むと稱せらるる原因たる主義で、最も玩味せなければならぬ主義である。民生とは人生の生活である。社會の生存である。國民の生計である。群集の生命である。全國人民の衣・食・住・行の四大需要に對し、政府は人民と協力し、農業の發展を謀り、民の食を充たし、織物業の發達を期し、民の衣を裕にし、大計畫の各種家屋を建設して民の住居に備へ、道路運河を修築して民の旅行往來を便ならしむるを以て其目的とする。三民主義は人に依り其解釋を廣め、其範圍は不定であるが、現在唱えられて居る穩健なる解釋としては、民生主義の内容は**地權の平均と資本の**

節制の二つである。地權の平均とは、國家に於て土地辦法・土地使用法・土地徵收法・地價稅法を制定し、一定の時期後は私人の土地所有權を法定限度に制限し、地主より定價を政府に呈報し、國家は其價に依り稅を課し、必要の場合に於ては其價に依り其土地を買收し、以て地主固有の利益を剝奪し、社會の生産的利益を維持するを主眼とするものである。資本の節制とは資本の數量制限ではなく、資本の用途上の節制である。個人營業に適するものは、國家之れを保護して民營となし、事業の性質上獨占的性質又は規模大にして私人の經營に適せざるものは、國營として資本家の獨占的利益壟斷を排斥せんとするものである。從て鐵道・船舶・鑛山・銀行等の事業は民營を禁じて國營とすることを主張するものである。

〔對内外政綱〕 國民黨及び其政府は三民主義に依り支那革命を遂行するを黨是又は政策とし、對内的には軍閥打破・資本家打倒を主張し、對外的には帝國主義打倒・不平等條約廢棄を叫んで居るが、是等の主張は何れも三民主義の民族主義・民權主義及民生主義から出て來る當然の叫びである。彼等は其勢力の及ぶ限り、到る處に於て此思想の宣傳に努め、傳單に、「ポスター」に、講演に、示威行列に全力を注いでやつて居ることは市中を一瞥し、能く首肯し得る處である。宣傳のみならず、彼等は具體的に之れ



汕頭に於ける示威行

を實行し、對内的には舊軍閥を驅逐し、又は勞農階級を味方として中産以上の民衆を壓迫し、對外的には「ストライキ」・「ボイコット」を以て外國を攻撃し、條約を無視して列國の權利利益を踏み付けて居る。其の態度は頗る不遜である。然しながら彼等の主張にも亦耳を傾けてやらなければならぬ點も相當にある。例へば八十年前に列國が武力を以て押し付けた不平等條約を、現在の今日に於て支持せんとするが如きは、確かに或程度の不合理と無理があることは争はれぬ事實であり、又外國が支那人を餘りに馬鹿にして、人格を認めなかつたのは間違である。漢口の英租界問題、白耳義との條約訂正問題等は、要する所三民主義より生れ出でたる現象に過ぎない。三民主義は支那建國の大方針で、之れを以て進めば、支那は獨立したる國家となり得る筈である。只其の思想たるや、從來の國際關係と衝突するが故に、排外的となり、國際關係を紛糾せしむるに至るものと見るを穩なる見解とすべきも、其背後に赤露の魔の手が延び來れるの事實なきや否や。

〔露國との關係〕 國民黨は現在に於ては露國を崇拜し、總ての施設を露國式に則り居るのは事實で、現に最高顧問として露國人を戴き、その他政府の要路に多數の露國人を用ひ、其指導を仰ひて居る。國民黨と露國との關係は大正十一年からのことで、孫文は革命に志すこと四十年、而も成功に至らないのに

煩悶して居る矢先、偶々露國の革命が成功したのを

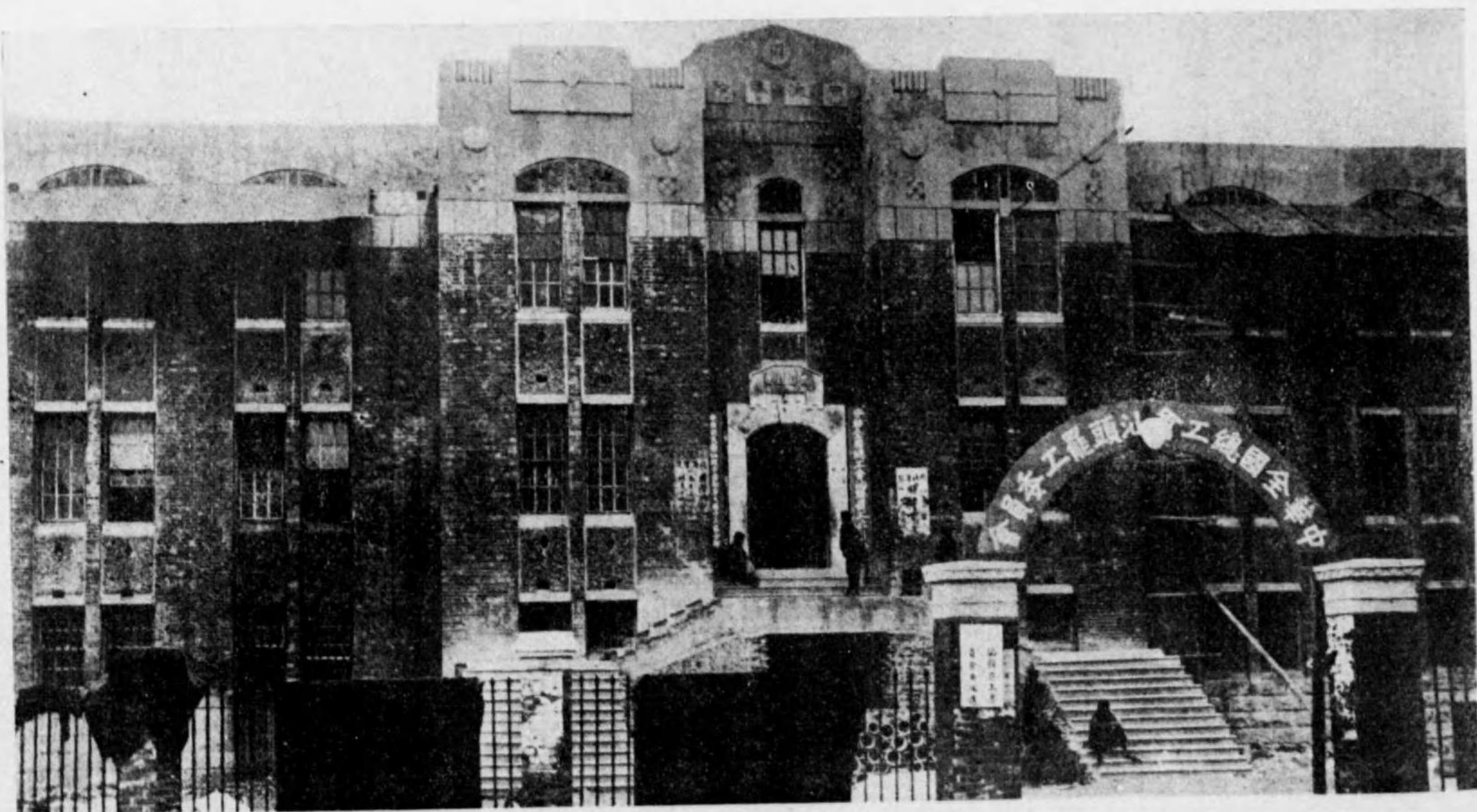
見て、支那の革命も露國に眞似ることが早道である。のみならず自分の主唱する三民主義は能く露國の主義に似て居るとなし、露國と接近提携するに至つたものであるが、國民黨政府要路者の云ふ所に依れば、吾々の此の眞摯なる國民革命を援助して呉れる國は世界に國多しと雖、露國以外にない。露國は精神的に將又物質的に能く援助して呉れる。又支那は革命の途上にあるのであるから、之れには安定したる國家の思想制度は當て撤らない、矢張り最近革命に成功したる露國の制度思想が一番適切であると。又曰く支那は産を作る道程に在り、未だ共有すべき産なく、何んぞ共產を實行せんやと。要領を得た辯明である。事實國民政府の主腦者の多くは共產を實行する意思はない、只孫文の三民主義を奉じて中國の革命を爲し遂げるのを目標として居る者と信じたい。併しながら共產一派も事實相當有力である。又現在の政府の遣方も多少過激なる點がある。是れは目的の爲めに手段を擇ばない結果で、若し其目的の或部分が達成に到らば、今少しく穩健になりはせないかと思はれる。

純なる三民主義を以てする中國の革命ならば、吾人何をか云はんや。然れども今次南方勢力の爲す處は、從來の如き單なる國家革命とは認め難き者が多々ある。即ち「ソヴェエト」露國の志す世界革命、

世界共產の魔の手が現に支那に延びつゝある。赤露が中亞諸地方及外蒙古に爲したると同一の状態が、支那に明かに見られる。西歐文明諸國に施さんとして失敗せる、勞働運動に依る強國の崩潰と、中亞に成功したる弱少民族に依る帝國主義打倒の兩の魔の手は、現に伸びつゝあるではないか。只支那人自身が是れに對し、如何なる態度に出づるかに依り、事重大となるものと信ずる。

勞働運動

〔政府の勞働者線縦〕 國民政府乃至國民黨は前述の如く、對内的には反革命驅逐・軍閥打破・資本家打倒を唱え、對外的には帝國主義打倒・不平等條約廢棄を叫び、是れが實際的運動の手先には、主として勞働者を使つて居る。中支乃至北支に於て對外運動又は社會運動に對し、學生が活躍して居るのは此の點に於て趣きを異にし、南方勢力の特色である。是れ孫文の遺囑中「民衆を喚起し」の民衆とは國民の大部分を占むるもの、即ち少數の政治家や、資本家ではなく、勞働者と農民であるとし、國民革命を遂行せんが爲めには、此の勞働者を背景とせざるべからずとするので、又實際國民革命を爲し遂げるには、勞働者及之れを線縦する共產黨が必要缺くべからざるものである。即ち是等をして一時社會及經濟組織をメチャクに破潰させる。而して政府は徐々に新なる



總工會能工委員會本部

建設に取り掛るのである。現に漢口や九江の英租界を取つたのは、政府が労働者と共産黨の手を借りてやつたものと見ることが至當である。又労働者側に於ても、從來の如き被壓迫境遇から救ひ出されるから國民政府を崇拜し、是れが手先と爲つて犬馬の勞を執るのも、蓋し免れ難い處である。

〔工會組織〕 當地に於ては大正十四年春迄は、工會なるものは殆んどなかつた。有つた處で極めて微力のものであつたが、十四年三月廣東許崇智軍の到來と共に、工會が雨後の筍の如くに生れ、今日に於ては團體を作るに足るべき人数を有する労働同業者にして、工會を組織せざるものなく、其數無慮百數十に達し、總て團體勢力を以て外に當り、直に「ストライキ」・「ボイコット」てふ武器を以て脅かし、之れに對する兵力對抗は一寸利目がない。

〔排外運動と労働者〕 大正十四年夏の上海五卅事件の影響として起つた當地方の排日英運動は、當地政府者が國民黨政府なりし爲め、頗る熾烈にして、七月一日より十月初旬迄で、日・英兩國人は丁度百日の間、家庭使用人も罷業し、人力車夫・舢舨苦力迄日・英人の爲めに動かさず、食料品も買ふの途なく、商取引の停頓は勿論、實に筆舌に盡し得ざる艱苦を嘗めた。當時直接此の排外運動の衝に當つたのは、愛國運動の美名を傘に著る不逞政客と労働者である。而して手先が労働者なるだけ其手段頗る過激亂暴であつ

た。排日は幸ひ同年十月五日完全に解決して以來、對日感情は日に良好に進み、日本商權の進展見るべきものあるに反し、英國側は香港・廣東の關係上十五年十月迄「ストライキ」・「ボイコット」の厄に遭ひ、非常なる打撃を受け、其南支に於ける商權に甚大なる阻碍を來したる事實は、世人の均しく知る所である。汕頭地方の支那人士は、日本人に對しては素々頗る好感を有して居る。併し過去に於ては、或る一部の不良分子が愛國運動の美名を藉りて、地位と私利を博せん爲めに、軌を逸したる暴舉を爲した事實は明かにある。現在に於ては排外的色彩は甚だ薄いと見るのが穩當であらう。併しながら漸次彼等の思想も固まり、右と左との色彩が明かに分れて來た。左の勝利に歸すれば排外運動は先づ絶ゆることはなからう。

〔資本家と労働者〕 中産以上の商民は政治を論ずるよりも、自己商賣の隆盛を願ふものであるから、一部政客の對外過激手段及労働者の跋扈を頗る不快とし、排外運動には素々反對であるけれども、所謂愛國運動なる看板に對し、敢て反對する譯にも行かない。加之其の後労働運動は對内的となり、自國資本階級に反抗し初め、勞資爭議絶ゆることなく、大正十五年中に於て殆んど總ての労働者と資本家間に爭議を経たりと稱するも、過言ではない。而も全部勞

働者側の勝利を以て解決し、勞銀は平均五割方上り、其外八時間労働・休日制度・賞與等何れも労働階級の有利に決められた。是等は何れも共産黨員が工會の顧問又は總工會執行委員長として爲し遂げた藝當である。資本家は店を疊んで隠れる向も弗々見え出した。

〔農民運動〕 労働者の運動は漸次都市より奥地に入り込み、大正十五年來當地方田舎には、農民協會なるものが出來た。是れは小作人の團體で自衛軍を組織し、地主に對抗し、兩者間利害の衝突より戰爭騒ぎを時々演ずる様になりつゝある。是れが若し自覺ある階級戦たりとせば、由々敷大事と云はなければならぬ。

支那の如く未だ社會信用制度確立せず、資本の集注不可能にして、大企業の發達せざる國に於て、斯くの如く工人及農民の不合理なる跋扈は、益々社會の經濟的發達を阻害するもので、先づ當分産業の開發等は望み難い次第である。

併しながら之れを以て直に赤化なり共産なりと云ひ得るや否や、慎重の考慮を要する所である。若し果して單なる勞資爭議なりとせば、從來支那労働者が餘りに壓迫せられたる反撥として、過激なる手段に出でざる以上、先づ止むなき所であらう。現に支那労働者の賃銀が五割方上りたりとするも、左程過大のものではない。漸く當を得た程度であらう。け



廣東省農會潮梅海陸辦事處

れども其他待遇條件等は中々振つたもので、現在普通文明國には未だ實施せられて居ないものがある。況んや此の運動を牛耳るものは、明かに共產黨員たるの事實がある。勿論政府者の中堅は共產黨にも非ず、共產に共鳴するものでもないが、是れのみを見て一般の趨勢を評することは出来ない。今や共產・非共產の暗闘が政府部内にも民間にも盛んに行はれて居る。其結果の如何は、蓋し重大事件であらねばならぬ。

通商貿易

〔貿易額〕 汕頭港は貿易上に於ては、支那開港場中上海・天津・大連・漢口・廣東・青島の次に位し、第七位を占め、南支樞要の貿易港として厦門・福州の約三倍近くの貿易力を有して居る。大正十五年一月から昭和元年末に至る一年間の税關統計に依れば、汕頭港の對内外總貿易額は、輸移入六千七百六十五萬海關兩(以下單に兩と略稱する)、輸移出二千七十三萬兩、合計八千八百三十八萬兩である。大正十二年には總貿易額八千四百四十八萬兩、大正十三年には八千七百六十一萬兩であつたが、大正十四年には上海五卅事件に伴ふ排日英運動の爲め、激減して七千三百四萬兩に下り、大正十五年には前各年の計數を凌駕して未曾有の統計を得た譯である。尙ほ總貿易を外國貿易と内國貿易とに區別すれば、外國貿易が

三割三分、内國貿易六割七分の割合で、大正十四年以來香港經由輸入品が減じて、上海廻りの移入が殖え、漸次内國貿易が盛んになる傾向に進みつゝある。

(註) 一海關兩=金一圓五十錢見當

〔外國品と支那品〕 外國品と支那品との輸移入高は、數年前に於ては殆んど伯仲の間に在つたのであるが、近來外國品が減じて支那品の移入が殖える傾向が著しく見え、大正十五年には七對十の割合となつた。勞働階級の賃銀値上に基く購買力の向上は、外國品よりも主として支那産品の需要を喚起した傾がある。蓋し下級者の求むるものは、先づ食料品及粗製衣類等の工産品を主とするに基くと共に、排英運動の爲め、支那内國産業が多少なりとも勃興したる證左であらう。

〔各國通商力比較〕 大正十四、五の兩年の南支貿易は、排英運動の爲め著しく變つた。以前に於ては外國貿易は、多く香港經由輸入で、香港との貿易は當港外國貿易の約五割を占めてゐたが、大正十五年には一割六分八厘に減じ、之に伴ふて各國の貿易力に著しき變動を來し、前年第二位の暹羅が第一位に進み、香港第二位に下り、次で海峽植民地・佛領印度支那・日本・蘭領東印度・英領印度・米國・獨逸・露國の順序である。即ち左の通り。(單位 海關兩)

國別輸入輸出合計

國別	輸入	輸出	合計	外國貿易總額に對する百分率
暹羅	三、七六九	三、九五三	六、七二二	二九・〇
香港	四、四六五	七、三九二	一一、八五七	一六・九
海峽植民地	三、七三六	四、八六九	八、六〇五	一六・八
佛領印度支那	二、〇七三	三、三三六	五、四〇九	一四・〇
日本	三、五〇六	二、九四六	六、四五二	一三・〇
蘭領東印度	二、〇八五	一、九三三	四、〇一八	七・〇
英領印度	一、八三六	一、六六五	三、五〇一	六・〇
米國	七、二三五	三、二六七	一〇、五〇二	三三・〇
獨逸	二、〇三六	五、三三三	七、三六九	一〇・七
露西亞	二、七六三	九	二、七七二	〇・四
其他	二、四一四	一、七三六	四、一五〇	〇・五
合計	一九、三六五	二二、八四九	四二、二一四	一〇〇・〇

汕頭と日本との貿易は從來餘り振はなかつた。一華帶水の關係にありながら、極めて貧弱なものであつた。輸出入額は百四十萬兩内外で、汕頭對外國總貿易額の四分乃至五分に過ぎなかつたが、大正十五年には三百七十七萬兩(金五千五百萬圓)に躍進して、従前の二倍半に激増した。是れは英貨排斥の直接影響と云はなければならぬ。併しながら激増したと云ふた處で、外國總貿易額の一割二分三厘に過ぎないのは、未だ吾人の樂觀を許さない所である。けれども右の計數は税關の統計で、必ずしも正確かすべからざるものとは云ひ難い。當地輸入雜貨日用品の七八割見當は、皆日本品であるとの専門家の觀察より

推論すれば、日本との貿易は事實右統計より、尙多額に上りはせんかと思はれる。日本との貿易は斯くの如く發達してゐるが、當地在留の本邦商は夫れだけ仕事が増えた様にも見えないのは、商賣がだん／＼支那商人の手に移りつゝある爲めではなからうか。

〔主要輸出入品〕

外國よりの輸入品		外國への輸出品	
米	六、三九四	紙	三、二九四
砂糖	三、五〇五	落花生油	九、四〇三
綿織物	一、七二六	陶磁器	八、八三四
石炭	一、〇五三	下ロンカオーク	七、七八五
錫錠	七、七三六	野菜類	六、〇一四
魚(乾鹽)	四、三三〇	(生乾鹽及罐詰)	四、一三三
硫酸アムモニア	三、九五四	蜜柑	三、七五五
人造藍	三、九四五	果實	三、五〇〇
毛織物及毛製品	三、三六五	土酒、藥酒	三、二六二
綿毛交織物	三、〇九二	大根(鹽乾)	二、八三三
ゴム及ゴム製品	一、八八九	麻絲	二、七五四
革及革製品	一、五三九	魚網	二、七二四
雜織物	一、五九七	紙卷煙草	二、七〇七
小麥粉	一、三三五	豆類	二、七九三
帽子類	一、〇六一	卵	二、一九五
セメント	六、三三三	紙傘	一、九七五
糖菓	一、七七一	糖菓	一、七七一
竹製品	一、六三三	線香	一、五八四
磷寸	九、八八四		

〔主要移出用品〕 支那各地との内國貿易品左の通り

他地方よりの移入品	他地方への移出品
豆粕 10,141,035	紙類 3,007,113
綿絲 9,900,334	砂糖 1,916,106
豆類 2,920,644	土布 1,377,355
落花生 2,363,377	刻煙草 633,640
麥粉 1,694,444	ドロウウオーク 594,095
ラミー 9,558	麻織物 49,849
紙卷煙草 6,457,0	蜜柑 32,829
綿織物 6,351,5	陶磁器 303,670
麵類 6,669	錫箔 277,433
土酒、藥酒 5,765,0	錫 192,433
藥劑 5,869	澱粉 179,499
棉花 5,242	果實 155,501

〔日本との貿易品〕 日本と汕頭との貿易品は上海廻りや香港廻りもあり、統計面に果して日本品として計上せられて居るか甚だ明かでないので、従つて正確なることは知り得ないが、臺灣總督府の統計に依れば、少くとも臺灣よりの輸出品及臺灣經由の日本品だけは知ることが出来る。即ち同統計に依れば、大正十五年中臺灣の對支那全貿易は支那の輸入三千二百二萬圓、臺灣への輸出二千八百三萬圓、合計五千九百五萬圓である。而して其中汕頭との關係に於ては臺灣より汕頭の輸入五百五十八萬圓、即ち臺灣から支那の總輸入額の一割八分を有し、前年より百八十萬圓を増加して、厦門に次で第二位を占め、福州より二

百三十四萬圓、廣東より百萬圓優勢であるが、當地から臺灣への輸出は頗る貧弱で七十五萬圓内外、即ち支那より臺灣への總輸出高の千分の二十八てふ悲惨なる状態に在る。

左記の表は臺灣産と内地産及臺灣向と内地向の區別が確然としてゐないが、大體日本及臺灣對汕頭の貿易品を知り得るであらう。

汕頭輸入主要品	汕頭輸出主要品
綿織物 11,700,000	麻布 3,000,000
錫 20,000,000	苧麻布 1,200,000
鹽魚 60,000,000	陶磁器 1,800,000
石炭 400,000,000	葉煙草 80,000,000
酒精 200,000,000	黃麻 50,000,000
乾貝 100,000,000	黃麻布 30,000,000
糖蜜 1,000,000,000	鳳梨布 30,000,000
包種茶 100,000,000	人蔘 20,000,000
セメント 80,000,000	紙傘 30,000,000
燐寸 70,000,000	唐紙 11,000,000

〔出入船舶〕 當港に出入する船舶は、大正十三年に於ては隻數三千八百七十隻、噸數五百二十三萬噸で、先づ一日出入十隻であつたが、大正十四、五年の排英以來多少減じて、大正十五年には二千八百八十隻、三百五十萬噸即ち一日平均出入八隻となつた。のみならず、從來出入總數の七割を占め、當地方航海業獨占の姿にあつた英國船は、大正十五年には六分の一の四百三十四隻てふ悲況に陥り、其の代りに支那船

日本船等が漸く頭を擡げて活躍する様になつた。大正十五年の各國船出入比較左の通りである。

國別	隻數	噸數	總噸數の百分率
支那	1,017	1,057,979	30.1%
日本	61	93,950	2.6%
英國	24	601,664	17.2%
諾威	27	461,910	13.2%
和蘭	31	1,011,314	29.7%
露國	7	66,436	1.9%
丁抹	5	79,290	2.3%
米國	3	54,006	1.6%
佛國	16	19,006	0.5%
其他	7	6,599	0.2%
合計	2,186	3,501,008	100.0%

商業

〔商勢〕 汕頭の背景たる地域は、韓江を動脈とする潮梅十五縣、海谷・陸豐の二縣及福建上杭地方數縣を含み、海岸線南北三百哩に亘り、富裕なる大消費地を爲すが故に、輸入貿易は相當盛んであるが、政變・土匪・海賊の猖獗及官憲の苛抽等は、其の發展を阻害すること大なるのみならず、地方産業の開發殆んど行はれないので、輸出は何等見るべきものがない状態である。政局安定し、地方治安の維持行はれ、社會信用制度確立するに至らば、相當の輸出も顯はるゝことと思はれるけれども、近き將來に於ては、

先づ實現至難とせなければならぬであらう。

〔支那側會社商店〕

- 電燈 汕頭開明電燈公司
- 電話 汕頭電話公司
- 水道 汕頭自來水公司
- 鐵道 潮汕鐵路公司
- 航業 招商局支店
- 煙草 南洋兄弟烟公司
- 米穀 裕發・祥發・逢源・鼎新・綿裕昌・明豐
- 肥料 洽興・廣成・李通興・嘉達
- 砂糖 乾元利・萬利成・逢源・潮興利
- 綿絲 廣日昌・馬潤康・協興・綸發・啓佑
- 綿布 集昌崑記・集成昌・泰昌・集成發・錦綸
- 鐵類 鉅豐・全盛豐・永成
- 海產物 添發・光明・益茂・炳記・建發
- 金飾 慶豐・阜豐・安昌・再源・天豐・天吉・晉興
- 絹物 悅昌・集成發・佳利・長茂源・泰祥・同福
- 百貨店 平々公司・廣發・泰生・南生
- 藥店 廣東大藥房・壽生堂・信興・信泰・讚記
- 紙類 奇新莊・諸葛盧・怡成順・安裕
- 書店 文明商務書局・南方書局
- 船舶代理 波寧公司・元亨公司・維記公司・中南公司・華商公司

(註) 金融業者・製造工場・料理店旅館等は各當該項にある。

〔外人側會社商店〕

- 英國 怡和洋行 (Jardine Matheson & Co.) (船舶)
- 太古洋行 (Butterfield Swire) (船舶)
- 亞細亞石油公司 (Asiatic Petroleum Co.) (石油)
- 德記洋行 (Bradley & Co.) (船舶雜貨保險)
- 順泰洋行 (T. Carr Ramsay) (同前)

- 米國 三達洋行 (Standard Oil Co. of N. Y.) (石油)
- 獨逸 新昌洋行 (Yelunder Rosse) (雜貨)
- 和蘭 安達銀行 (Netherlands Indian Commercial Bank) (銀行)
- 海通洋行 (Handels Maatschappij "Transmanina")

(註) 日本商の分は在留邦人狀況の項参照のこと
 〔商業會議所〕 外國人及日本人共に商業會議所様のものは無い。唯支那側の總商會がある。總商會は支那各地に在るから別に説明を要しないが、當地方に於ては労働者跋扈の爲め、總商會の勢力は頗る衰へた感がある。工會側に對抗し得ない。總商會の外商業聯合會なるもの二年前出來たが、是れは第二流の商人の團體である。寧ろ後者の方が總商會より社會的に活動して居る様である。尙ほ同業組合様のものが澤山あることは、支那各地と一般である。

一である。

麻布 麻織物業は當地工業屈指のもので、揭陽縣下最も盛んで、殆んど各戸製織に従事して居ると云ふても過言でない。外國及國內他地方輸出は、大正九年頃には三、四百萬兩の巨額に上つて居たが、近年は漸次凋落して大正十二年は九十八萬兩、十三年は六十萬兩、十四、五年は五十萬兩と、追々減少し來りつゝある。本織物は當地附近で製織せらるゝものであるが、其原料は當地方に産出少く、苧は漢口、麻は海南島より主として輸入せられる。

ドロノウォーク及レース 此の二つは當地方の名産で、「ドロノウォーク」は年百三十萬兩、「レース」は二十五萬兩を外國又は他地方に出して居る。「ドロノウォーク」は主として麻布に色々の模様を「ヌキカガリ」したもので「テーブル・クロス」・「ハンカチーフ」・「ベット・スプレット」等に愛用せられ、中々「ハイカラ」の出來もあり、米國向輸出が多い。此の兩種の手工業は機械工場組織のものなく、皆家庭手工業として廣く行はれ、昔外國宣教師が教へ込んだものさうである。

罐詰業 當地方は果實・野菜及海産物の産出豊富で、且つ當地方より出稼する巨萬の南洋移民は、故國の食を欲する關係上、罐詰業は相當の成績を挙げ、左記數箇の工場も出來、一年の移輸出額は百萬兩に近い。

産業

〔工業〕 支那到る處の通弊たる治安の不確立及資本集注の困難は、當地にも免がれざると共に、壯丁の海外出稼及燃料不足等の關係もあり、當地方の工業は極めて不振で、僅かに電燈・水道・電話等の公共的事業の外には、砂糖・紙・陶磁器・錫器・「ドロノウォーク」・罐詰等の極めて「プリミティブ」な、小規模の工業があるに過ぎない。

製糖 廣東省は砂糖の産地として福建と並び稱せられ、潮州・潮陽・黃岡・澄海・普寧・揭陽の各縣下に産出する。白糖・赤糖・黃糖・烏糖の四種に分たれ、其の製造方法は潮汕鐵道沿道にも見かける如く極めて幼稚且つ小規模のものである。當地産糖は古は相當外國輸出もあつたのであるが、次第に外國糖に押され、現在に於ては外國輸出は殆んど皆無であるが、内地移出は二百萬兩内外に達する。

製紙 製紙業は福建省上杭・寧化方面に於て竹類を原料とし、手工を以て製造するもので、交通の關係上汕頭を経て諸方に輸出せられる。精唐紙・粗唐紙及禮拜紙(紙箔)の三種とし、精唐紙は主として表具・帳簿・書翰用紙に用ひられ、粗唐紙は包裝紙に、錫箔即ち禮拜紙は神佛祭典の燒香用に使せられる。當港から出る紙は外國輸出二百萬兩、內國移出三百萬兩合計五百萬兩に達し、當地輸移出品の第

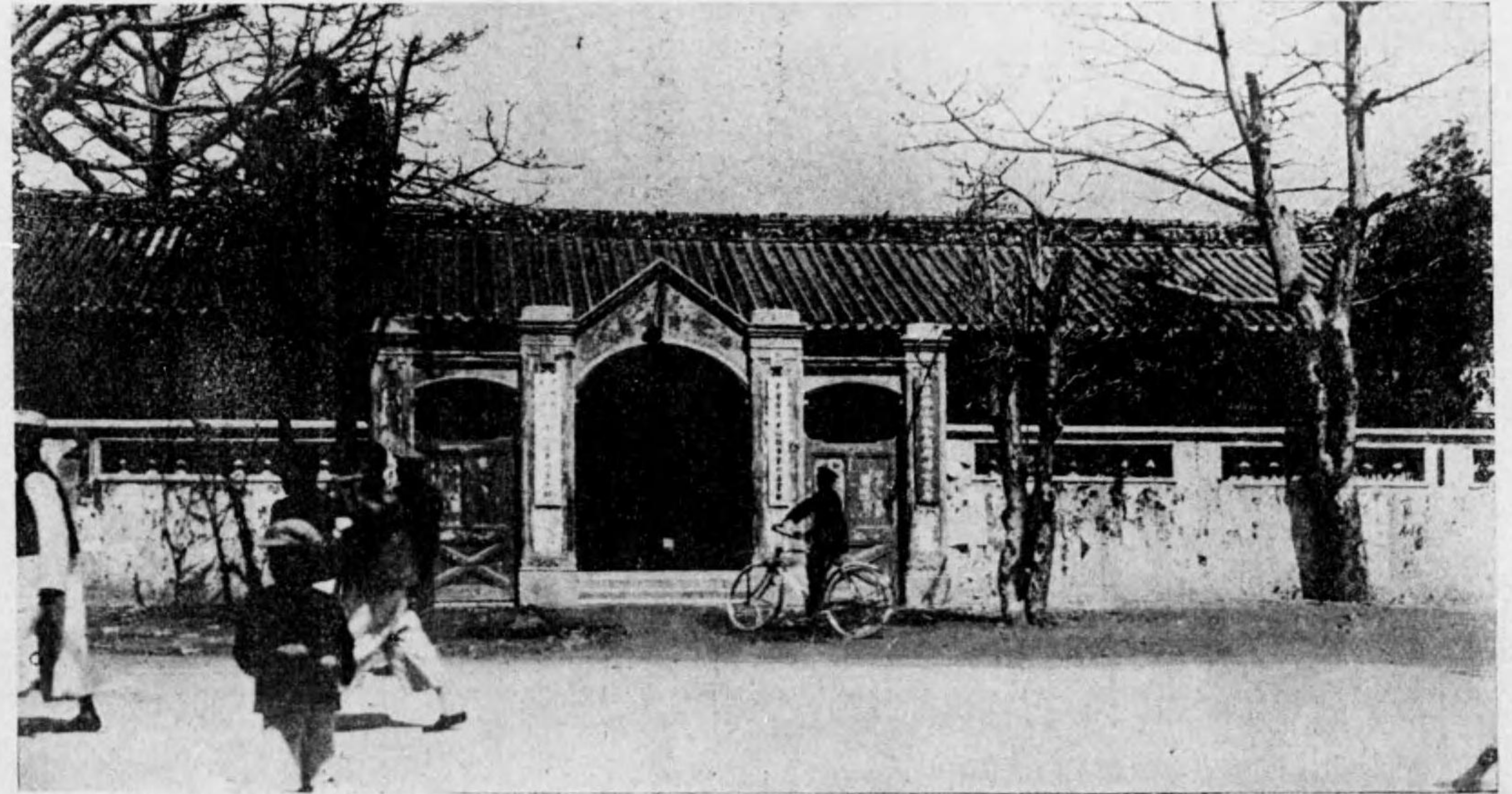
- | | | | |
|-------------|-----|------|-----|
| 同貨公司 | 邇覽橋 | 適味公司 | 金山街 |
| 振球公司 | 金山街 | 通商公司 | 金山街 |
| 和同公司 | 金山街 | 振美公司 | 金山街 |
| 五和公司 | 永隆街 | 美香公司 | 同濟橋 |
| 美和公司(製造)新馬路 | | | |

右の外石鹼工場として鴻茂(萬安街)大成公司(鎮邦街)振美公司(乾太厝内)・明本公司(同濟一校前)の四工場あるも、孰れも洗濯石鹼製造である。錫器も當地の名産に算えられて居るが、品質良好でなく又型も全然舊支那式で、實用に適する珍らしいものは見當らない。楓溪及高坡の陶磁器は「プリミティブ」であるが、却て雅致があつて面白く、大正十五年の統計に依れば、外國主として南洋諸方に出たもの八十八萬兩、支那内地の他地方に出たもの三十萬兩に達した。

〔農業〕 農業は潮州縣下最も發達し、嘉應州・惠州地方は山地多く平地少いから、此の地方は餘り盛んでないが、大體に於て當地方與地は地味肥沃、水流の自然的灌漑、氣候の關係上農業に適し、米は年二回の收穫あり、甘蔗の栽培は福建と並び稱せられ、蔬菜は大根・里芋・葱・蒜・莢豌豆・白菜・蓮根・西瓜・胡瓜・苜蓿等の産出多く、果實は蜜柑を筆頭として鳳梨・バナナ・ザボン・マンゴ・荔枝・龍眼肉等熱帶地物の産出見るべきものが多い。米は年産二百五十萬擔と稱せられて居るが、人口稠密且つ一般住民が米を主

二紙を主とし、其他は商人の機關紙たる汕頭商報を除けば、殆んど新聞の價値なき、極めて貧弱なる民報天聲日報・真言日報・汕頭星報・新聞報・嶺東晚報の數紙に過ぎない。加之民國・大嶺東・民報・天聲の四紙以外は、印刷職工の「ストライキ」に依り、大正十五年末から休刊中で、復刊は相當困難であらう。要するに國民政府は、表面言論の自由を標榜するも、事實に於ては、極めて苛酷なる言論壓迫を行ふて居る。或は革命進行中の止むを得ざる權宜とでも辨解するであらう？

〔學校〕 國家の將來に對し、最も肝要なる教育の制度は、極めて不備且つ幼稚で、如何に最負目に見ても第三等國の域を脱し得ない。汕頭市内には小學校約四十あるが、公立學校は市立第一乃至第四の四校のみ、其他は總て私立學校（多く同郷人相集まつて作る）にして、兩者孰れも設備規模共に不備不整、先づ學校と云はんより寺小屋か塾と稱するを適切とする。中等學校は九校、廣東省立一校、其他は全部私立である。是れ亦日本の中學とは勿論比較にならない。右支那學校の外に外國經營の學校がある。是等は日本側以外は總て教會學校で、設備等は、支那側學校に比し數等優れて居るが、反帝國主義乃至反基督教及教育權回收熱の爲め、漸次閉鎖又は改組せざるを得ざる様になり、外國教育機關の經營は頗る多難ならんとする状態である。



校學業商種甲東嶺立省東廣

當地に於ける主なる學校を列示せば、左の通り。

小學校

- 東 瀛 學 校 (日本) 外馬路崎碌
- 童子部高等小學校 (英國) 汕陰巷(無期休校)
- 角石小學校 (米國) 角石(無期休校)
- 市立第一小學校 (支那) 四維路
- 同 第二小學校 (同) 昇平馬路
- 同 第三小學校 (同) 同濟路
- 同 第四小學校 (同) 金山直街
- 廣州旅汕學校 (同) 外馬路
- 正 始 學 校 (同) 福平路
- 普寧旅汕學校 (同) 永興街口
- 同濟第一小學校 (同) 烏橋亭祠內
- 同濟第二小學校 (同) 外馬路

中等學校

- 角石中 學 (米國) 角石(無期休校)
- 正光女 學校 (同) 同 (無期休校)
- 淑德女 學校 (英國) 外馬路(無期休校)
- 若 瑟 中 學 (佛國) 同 (無期休校)
- 南 強 中 學 (支那) 葱 壠 (元英國系 華英中學)
- 省立高級商業學校 (同) 外馬路
- 友 聯 中 學 (同) 商業街
- 高 級 中 學 (同) 葱 壠
- 震 東 中 學 (同) 花園路
- 廻 覽 中 學 (同) 葱 壠

- 英 華 學 院 (同) 同益巷後
- 時 中 々 學 (同) 烏 橋
- 民 強 中 學 (同) 舊道署後
- 女 子 中 學 (同) 內馬路
- 女 子 師 範 (同) 高華路

〔衛生醫療〕 衛生施設を缺くは、支那各地一般と異なる所なく、又醫療機關も發達せず、病あるものは、禁厭祈禱により草根木皮を藥用し、或は漢法醫療に頼るも猶全治せざるものは、不治の病として斷念し、進んで加療するものは、上流の開けた部類か、教會信徒たる關係から、教會醫院に診療を求むるものあるに過ぎない。併し近年は、追々歐式醫に掛る様になつたが、多くは外科で、内科患者は漢法療法で效果なく、重態に陥つて後、初めて新式醫の診療を求むるものが大部分である。如斯は中々恢復し難い。當地方は半熱帯であるが、比較的健康帶に屬し、地方病もなく、又流行病も尠い。

汕頭に於ける病院・醫師の主なるもの。

- 汕頭博愛醫院 日本 病室有 外馬路
- 福 音 醫 院 英國 同 同
- 大 和 醫 院 日本(臺)病室無 海關路
- 德 國 醫 院 獨逸 同 同
- 汕 頭 醫 院 支那 同 元興巷
- 中 國 醫 院 同 同 外馬路
- 志 人 醫 院(留學) 同 同 永平路

廣德醫院(同) 同 懷安街
 同濟醫院 同 病室有 鎮邦街
 遠東醫院 同 同 育善橫街

右の外、支那は漢法醫醫を併せ約二百に達することである。

〔教化事業〕

中華基督教會 英國系長老教會の教會堂で、外馬路福音醫院の前面に在り。毎日曜禮拜者三百に達する。經費は在英本部よりの補助の外、信者の寄附に依る。

天主堂 佛國「カトリック」教會堂で、若瑟中學及孤兒院を經營して居る。

浸信教會 米國系、餘り振はない。

基督教青年會 米國系で、談話室數箇及「テニス・コート」あり、又支那官話・英語の講習會を開き、教化上有益なる會合に利用せらる。最近「ボイス・カット」の活動を初め、又活動寫眞の映寫をも時々開催する。

普益社 角石中學と同系の米國系で、市内中心たる鎮邦街にあり。四階建の「ビルディング」の最下層は商家に賃貸し、二階以上を自ら使用し、講堂ありて教化講演を催す。比較的開放主義で、國民黨の政談演說會にも貸與し、又活動寫眞の公開映寫をも催すことがある。

汕頭市立圖書館 商業街にある。圖書の集まれるも

の二千弗内外に過ぎないのみならず、其の利用者極めて少く、規模小にして設備不完全、政變毎に軍隊の宿泊所に徵發せられる。

市設新聞閱覽板 市内各所に約十箇所あり。何れも街路の傍に設け、行人の自由閲讀に便す。日本の新聞社前の閱覽板に均し。

群學會 民國十三年、日本其他外國留學生の社交的機關として設けられ、崎嶇と汕頭の中間近くに新築した清楚なる建物で、圖書室・主突場・講室及「テニス・コート」二つあり。上流青年の新式社交的機關として意義あるものであつたが、國民黨系の勢力侵入と共に、外國學校出身と稱するが如き團體の結合に亀裂を生じ、今や閉鎖の悲運に在り。

〔慈善事業〕

存心善堂 地方紳士巨商を董事とする慈善團體で、歴史古く、基本財産を有し、其の收入を以て孤兒、老廢・罹災者の救済に當り、送葬の資なきものに代り之を營み、刑死者の埋葬・防火・消防等にも盡瘁する。善堂は大峰祖師の廟に在る。

同濟善堂 存心善堂と其の組織事業を同じくし、外に小學校を經營し、特に慈善診療に盡し、最近病院を新築せるも、未だ竣工半にして罷業團に占有せられ、其財産も一部國民黨の爲めに沒收せられた由である。

貧民工藝院 日本領事館の後方にあり。市の經營に

屬し、流浪無職者・乞食等を收容し、手工藝を營まして居る。民國十五年の開設に係り、爾來路上乞食を見ざるに至れるは、慶すべきことである。經費は事實紳士豪商の寄附に依る。

福音醫院 英國長老教會の經營に係り、創立以來六十年を閲し、貧民に對し、無料診療入院等の慈善事業を施す。醫術は頗る舊式で、主なる目的は信者の吸収に在るものの如く、院長及副院長は英國人、其他は自己の養成せる支那人醫生を使つてゐる。醫生見習所の附設がある。

博愛會醫院 日本財團法人博愛會の經營で、純然たる慈善事業ではないが、貧民には無料診療入院を許す。基本財産を有し、我が官邊よりの補助金もあり、病院としては汕頭第一のものである。

交通・通信

〔外洋交通〕 當地と最も關係の深い香港及厦門より一晚、基隆・高雄より二晩、上海より四晩の行程に過ぎないので、是等諸港との交通は相當頻繁で、又暹羅・新嘉坡・西貢・海防・蘭貢等南洋各港との船便も多い。先づ當港に寄港する定期船航路を概述せば、左の通りである。

基隆香港線 二隻 一週一往復 大阪商船
 基隆海防線 二隻 二週一往復 同
 高雄廣東線 一隻 同 同



存心善堂

上海廣東線 二隻 一月三往復 日清汽船
 同(目下休航) 六隻 不 定 招商局
 同(同) 二隻 一週二往復 支那航業會社
 同 二隻 同 印度支那航業會社
 廈門西貢線 一隻 一月一往復 元亨公司
 汕頭盤谷線 六隻 一週一往復「バタフィールド」
 同(目下休航) 四隻 同 「ジャーデイン」
 同 一隻 不 定期 大信公司
 汕頭新嘉坡線四隻 不 定期 同
 同 二隻 一月一往復 和通洋行
 同 三隻 每週一往復「バタフィールド」
 同 三隻 每週一往復「ドグラス」
 香港福州線 三隻 一週一往復

〔沿岸交通〕 當港を中心として南は香港廣東、北は廈門に至る四百哩の沿岸には、潮陽達濠等、汕頭港の一部を爲すの觀ある小港の外、北は拓林・東山、南は甲子・碣石・汕尾其他十數箇の内地港がある。是等との貨客の輸送は、從來支那「ジャンク」を以て爲しゐたのであるが、海賊横行の爲め、其の追跡を免れ得る速力を有する石油發動機船の使用を促し、大正十三年以來高雄港より、此の内河航路に轉業する發動機船漸次増加し、現在日本人所有及支那人所有各十數隻、合計三十隻を越した。是等發動機船は、悉く高雄の發動機漁船の古物であるが、當地内航各地間の交通に貢献する所、頗る大なるものがある。

〔河川交通〕 汕頭奥地の動脈たる韓江は、本支流を

合して二千餘支里、當地奥地間の交通に便する所、頗る大なるものがある。汕頭と潮州との間水路三十哩は、陸路鐵道あるが爲め、水路は僅かに民船及筏の交通があるに過ぎないが、潮州の上流に於ては、三河・松口・大埔等の各地に至る三百支里の間は、「モーター・ボート」の便あり、其の上流は何れも民船で往復出来る。又汕頭・揭陽及潮陽の間には、小蒸汽船の往復ありて、頗る便利である。

〔陸上交通〕 水路の便が多い丈、陸路交通は發達しないが、尙且汕頭・潮州・意溪間二十六哩半は、潮汕鐵道の便あり、汕頭・澄海間十哩には樟油輕便鐵道あり、潮陽にも最近四哩許りの鐵道が出来、支那奥地としては、相當に開けたるものと稱し得べきである。

潮汕鐵道は、汕頭より潮州(二十四哩半)を経て、意溪に達する二十六哩半の私設鐵道で、一日三回の往復がある。本線沿道には、當地方名産の潮州蜜柑畑あり、楓溪燒の産地あり、又極めて「プリミティブ」なる砂糖製造工場をも散見することが出来る。本鐵道の發着時間左の通り。

汕頭發	前七〇〇	潮州著	前八五〇
同	一二五	同	後三四二
同	後三〇〇	同	四〇〇
潮州發	前九二五	汕頭著	前二〇〇
同	後一〇〇〇	同	後二二五
同	四〇〇	同	六〇〇

備考、汕頭潮州間乗車賃一等一弗七十五仙、二等一弗十仙、三等六十仙、其の外各等二割の交通税を要する。

樟油輕便鐵道は汕頭・澄海間十哩を手押臺車で走るもので、特等並等の二種がある。乗客が集れば、隨時に發車し、片道約二時間、途中村落田園の風光目を樂しましむるものがある。

〔市内交通〕 汕頭市内の交通機關としては、人力車五百臺と自動車十六臺がある。人力車は一時間四十仙、自動車は片道二弗、一時間四弗、三四人合乗すれば、人力車と賃銀に於て大差なく、且早く用を達し得る利益がある。市内一巡には一時間で澤山。

〔通信〕 當地通信機關として、他地方と連絡するものは、無線電信と有線電信である。無線電信は、大正十四年、陳炯明派の没落と共に其の主要機關を失ひ、爾來不使用となつて居たが、近く一般の使用に供せらるゝ筈である。有線電信は、海底電信なく、陸線のみで、汕頭より外港に宛つる電報は、此の陸線に依り、惠州を経て石戟に至り、廣東香港線に合して香港に送られ、同地より海底電線に依り、他港に電送せらるゝものであるが、陸線は兎に角故障多く、頗る不正確なるを免れない。當地に海底電線のなきは、堪え難き弱點と謂はなければならぬ。

内地電報としては、潮州・松口・梅縣・興寧・鎮平・老隆・河源・平遠・博羅・惠州・海豊に電報局ありて、

場 車 停



通信し得る筈である。内外電報料一語左の通り。

日本 九十五仙 臺灣 五十五仙
香港・廣東 六仙 潮州 九仙
香港・臺灣等と電信不通の節は、當地寄港の大坂商船、又は日清汽船の無線電信を利用するの途もある。

當地市内の通信としては電話あり、加入者五百内外で、通話は大體に於て不可なることはない。汕頭・揭陽・潮陽・潮州・澄海等の間に長距離電話があるが、受信者に於て直接通話するのではなく、受信局に於て配達通信を爲すもので、先づ電信と電話の混血兒である。郵便局は華盛頓會議の結果、外國郵便局撤廢せられ、數年前から支那郵便丈けであるが、取扱に間違はない。

金融

〔通貨〕 民國十四年六月、當地方幣制の改革斷行せられ、汕票を廢し、袁世凱銀を本位と決定して以來、當地金融界は、爲めに著しく改善せられたけれど、支那銀莊發行の銀票は、總商會の保證があつても尙且不安なきを保し難く、普通の小口取引の如きは、主として硬貨を使用するので、不便此の上ない。民國十五年以降、廣東國民政府の銀行たる中央銀行支店當地に開設せられ、紙幣を發行する様になり、今日に於ても、多く此の紙幣が通用せられて居る。

南洋移民

汕頭は厦門と共に南洋出稼人の發足地として有名である。蓋し廣東省は人口稠密にして、一平方哩約三百九十人を算し、事實住民の冒險性、外國人との接觸等幾多の原因に依り、數十年前から海外に出稼する様になつた。現在に於ても、南洋航路の船は毎船數百の「デッキ・パツセンジャー」を載せて居るが、皆所謂出稼人と云ふて先づ差支ない。従つて其の數は、一年間十數萬に達する。即ち大正十五年の海關統計に依り、當港出入「デッキ・パツセンジャー」の數と其の行先地を擧ぐれば、左の如くで、暹羅・新嘉坡・安南等を主とする。

行先地	出航者數	行先地	出航者數
暹羅	五七〇〇	新嘉坡	二〇〇〇
安南	九七〇〇	香港	六〇〇〇
厦門	八四〇〇		
計	一五、一〇〇		

(香港封鎖の爲め 厦門經由南洋に赴けるもの)

右は出航者の數であるが、復航者も又十二萬に達するから、差引き四萬人は目的地に居残る計算になる。數十年來當地から出稼せる移民の南洋在住者は、相當多數に上つて居る筈であるが、精確なる計數は素より求め難い。先づ概括的計數に依れば、最低二百萬人を降らないことだけは、一般に信じられて居る。其の内最も多いのが暹羅の七十五萬、新嘉坡の六十萬、安南の四十萬、爪哇の十五萬と云ふ見當に

〔銀莊票〕 當地銀莊に於て、總商會保證の下に發行する銀票は、大洋票と小洋票の二種がある。前者は發行銀莊三十二軒、其の總額百八十萬弗、後者は六十萬弗内外の見當。國民政府中央銀行紙幣の當地方發行高は、大洋票と小洋票を合し、二百萬に近いことであらう。

〔外國銀行〕

臺灣銀行支店は明治四十年の開設で、爲替業務を主とし、信用は最も厚い。

和蘭安達銀行 (Netherlands Indian Commercial Bank) は大正十三年一月の開設に係り、南洋華僑の送金、其他主として南洋方面との爲替取引に従事するものなるが、成績は擧らぬとのことである。

〔支那新式銀行〕

中國銀行 (Bank of China) の支店がある、主として税關の收入機關である。國民政府開設の中央銀行 (Central Bank) は、國民政府の金庫たること前述の通りで、其の以外一般の銀行業務は取扱はない。

〔銀莊〕 支那銀莊三十二軒、兩替屋百四十餘軒ある。銀莊は滙兌公所なるものを組織し、當地金融界を支配するの實力を有し、爲替相場は同公所の決定相場を標準とする。銀莊の主要なるもの左の如し。

嘉發莊(鎮邦街)・泰安莊(鎮邦街)・連興莊(潮安街)・光益莊(永和街)・裕成莊(永和街)・鴻大莊(萬安街)・郭元安(大通街)・宏安莊(鎮邦街)

見られて居る。

斯くの如く多數の出稼人は、被備雜役護謨園其他の苦力として勞力仕事に當るもの大部分を占め、店舗を構え、商業を營むものは二割以下である。従つて家族移民は甚だ少數で、稀に見る成功者の話に迷ふて、遠く異境の地に一人出稼するの勇氣は賞すべきであると共に、其の末路は亦憫むべきものであるのは、想像に難くない。

併しながら、彼等勤勞の結晶は、巨額なる郷里送金として現はれる。銀行業者の概算する所に依れば、南洋方面よりの出稼人の送金一週百萬弗、即ち年に五千萬弗に達するであらうとのことである。出稼人の郷里では、此の送金に依り極めて裕福なる生計を營み居る事實は、一步郊外に出づれば、直に首肯せらるゝ所である。又此の郷里送金は、當地貿易の入超を決済する唯一の力であることは、特に注目を要する所である。

旅館・料理店

〔旅館〕 汕頭の旅館は日本式・洋式・支那式を問はず、甚だ不整備で、一寸した客を推薦するにも躊躇せざるを得ない。

日本式旅館 汕頭ホテル(崎碌外馬路) 日本式と稱するも、日本人が經營し、日本料理が食べられる丈けの事で、建物は全然支那式で、僅かに六



汕頭ホテル

疊許りの、間に合はせの日本間風の部屋が二つあるのみで、外は支那室のみである。併し故國に近しとは云へ、異境たる海外に於て、部屋設備の如何に拘らず、日本人經營の旅館に宿れると云ふことは、旅客の幸福であらねばならぬ。

支那式旅館

神州飯店(臺灣籍民經營)永平路入口廣東銀行の三階が夫れである。住地・風景共に宜しいのみならず、設備も支那旅館としては、稀に見る程清楚だ。

華安旅館(神州飯店主經營)神州飯店の數軒前方右巷にある、前者に比し設備は相當落ちる。樂天酒店(德安街)支那人經營の旅館で、規模設備共に汕頭第一であらう、支配人は臺灣籍民。

永平樓(永平路)・大華樓(懷安街)・亞東旅館(育善街)・金陵旅館(萬安橫街)等は、何れも普通の支那人旅館で、部屋代は一弗乃至五弗見當である。

〔料理店〕 和食は汕頭「ホテル」の專賣と云ふ格で、其の外にはなく、洋食は「アスター・ハウス」・「パレス・ホテル」及振瓊林園(懷安街)の三軒で、一食一弗半乃至二弗半見當、餘り結構ではない。先づ客に御馳走することは、差し控へるのが安全である。支那料理は、日本人の口に適する廣東料理で、唯田舎料理と云ふ丈けが缺點、味は中々佳美、福建料理に比して優ること數等、料理店としては、陶芳園(鎮邦街)が最も評判良いが、大きな部屋の設備がない。永平樓は百人位の宴會を催す場所も澤山あつて、先づ宴會は永平樓を適當とする。其の外樓外樓・大華樓・光華樓等も相當名の知られた料理店である。料理代は一卓十弗乃至二十弗内外。

〔茶館〕 禮記茶樓、喫茶料は一人分五仙。

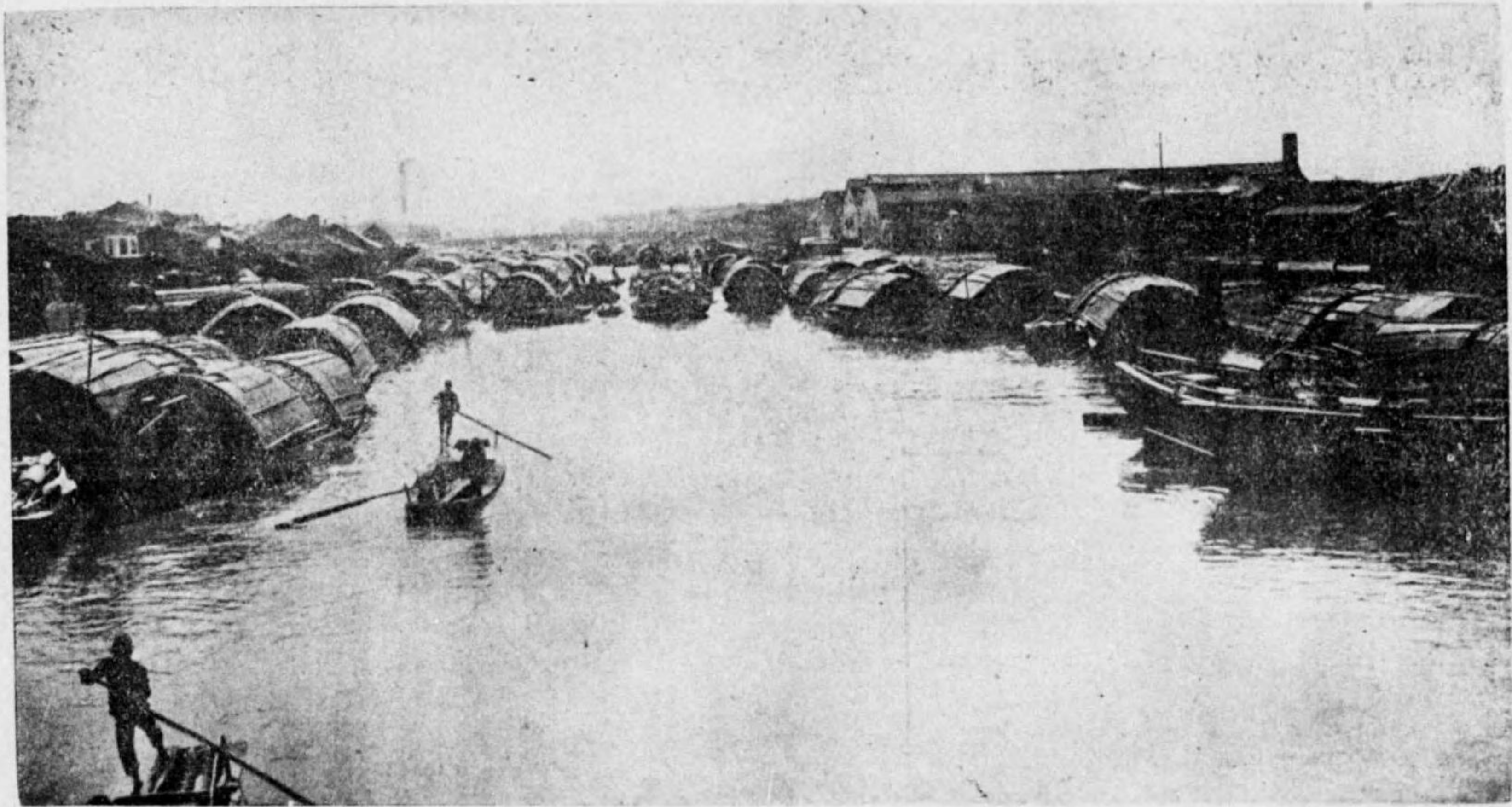
附近名邑

汕頭は若く新しい土地であるから、市内には名所舊蹟等の見るべきものなく、又風景に於ても韓江の帆前船か、角石の散策位のものに過ぎない。併しながら、附近田舎には相當見るべきものが多い。先づ當地方最古の潮州は、歴史的にも將又風景的にも是非一度杖を曳く價値がある。其他潮陽・揭陽・澄海・達濠等何れも田舎ではあるが、又田舎らしい特徴がある。閑を偷んで遊ぶべきである。

〔菴埠〕 汕頭驛を距る六哩、人口約五萬を有する



潮州の韓江



韓 江 の 民 船

舊街である。同驛に近く線路の右に當り、煙突の見ゆるは油頭の水道水源地で、驛を去る十餘町、韓江支流の岸にある。油頭自來水有限公司の事業で、資本金百萬元、民國元年の前年に著手し、民國三年に竣工した。沈澱池(二百二萬瓦)・濾過池(四百二十萬瓦)・貯水池・蒸汽唧筒機械二臺を有して居る。給水量は貧弱で、往々斷水があるのみならず、水質は鹽分を有し、一般の氣受は良好と云へない。

【華美】此の附近は恰も其の名の示すが如く、人家何れも壯美、半ば洋式を加味せるもの多く、是等は南洋華僑の成功者の住宅で、其の一家一族の集團するもの、概して障壁を高くせるは、必ずしも富裕なるが爲ではない。村と村又は異姓民間の争闘及土匪・盜賊に備へる爲めであると謂ふ。

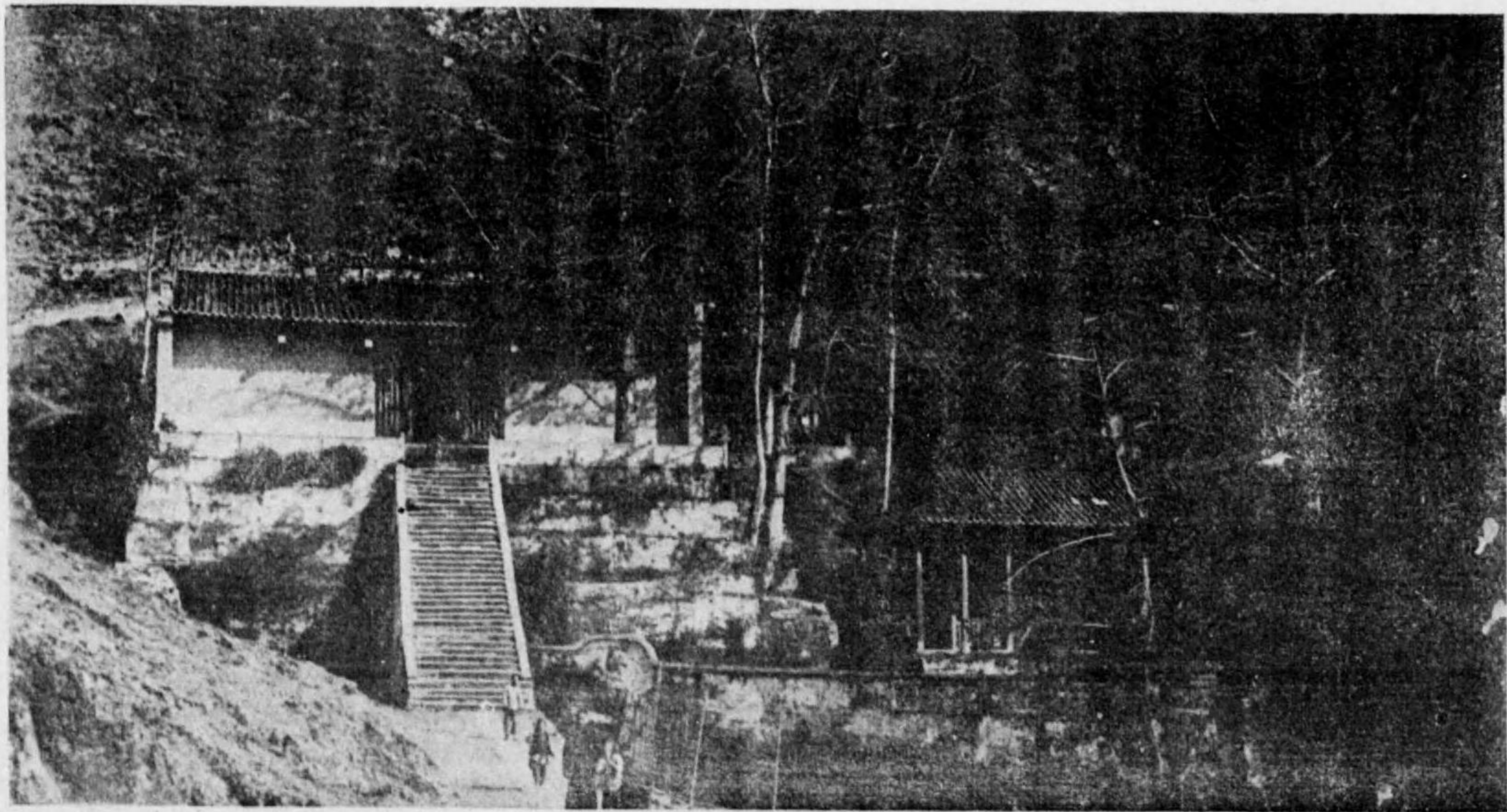
【彩塘市】附近一帶は、菱枝即ち龍眼木が鬱蒼として列んで居る。

【鶴巢】潮州蜜柑又は汕頭蜜柑として珍重せらるる蜜柑の中心産地で、汽車路の沿道は蜜柑畑連続し、四哩四方は蜜柑林である。當地の蜜柑は種苗より三四年で實を結び、二十年の壽命を有するとのことである。季節は十二月初めから二月初め迄。當驛を去る西南四哩許りの山麓溪流の邊に、自然温泉の湧出がある。未だ何等の設備はないが、在留邦人は、毎年十一月頃家族同伴で蜜柑狩旁此の温泉に遊ぶことが、年中行事の一つに算へられて居る。

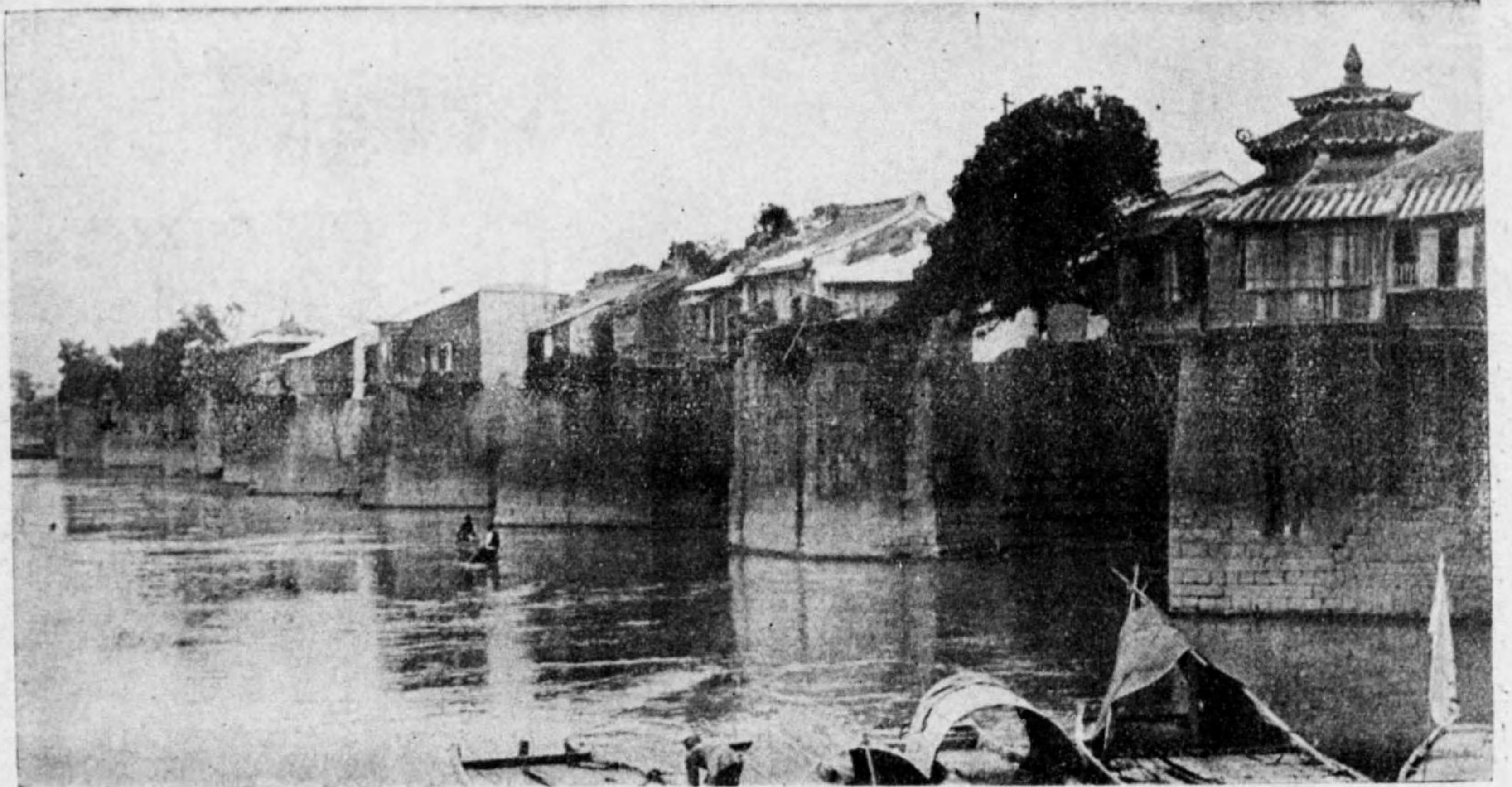
【浮洋】麻・藍及土人形の産物、野鳩多く、遊獵地として適當である。

【楓溪】潮州の手前二哩、楓溪燒の産地で、土管・壺・茶器・食器類を産し、南洋各地への輸出は、年數十萬兩以上に達する。

【潮州】は人口十五萬、當地方唯一の舊都で、東は韓江に臨み、西は西湖山を負ひ、韓山・金山等の小丘東北に散見し、市街般賑にして風致と歴史に富み、旅行者一日の清遊に適する土地である。此の地は韓公流謫の地として普く人の知る所。韓愈字は退之、河南省鄧州南陽の人、七歳にして書を讀み、日に數千字を書し、長ずるに及び、博く六經百家の學に通じ、唐徳宗の代に監察御史と爲り、陽山の令に却けられ、次で憲宗の朝佛骨の表を上り、遂に貶せられて潮州の刺史となつた(元和十四年、西曆八一九年、我嵯峨天皇の朝、空海高野開山の後三年)留ること僅か八箇月にして、江西省袁州に移され、幾許もなく朝に歸りて吏部侍郎となつた。公没するや禮部尙書を贈られ、文公と諡せられた。公宏才卓識力を古文に致し、八代の陋習を破り、努めて周・漢に追蹤せしめた。又孟子を敬慕し、吳端を排斥して儒教を唱導した。韓山に在る韓祠は即ち韓文公を祭るの廟である。韓公流謫後、宋淳熙十六年(西曆一一八九年、今を去る七百三十數年)郡司丁充以なるもの、東山は韓公愛好の地、殊に手植の椶木ある故を以て、茲に廟



潮 州 韓 祠 廟



潮州の湘子橋

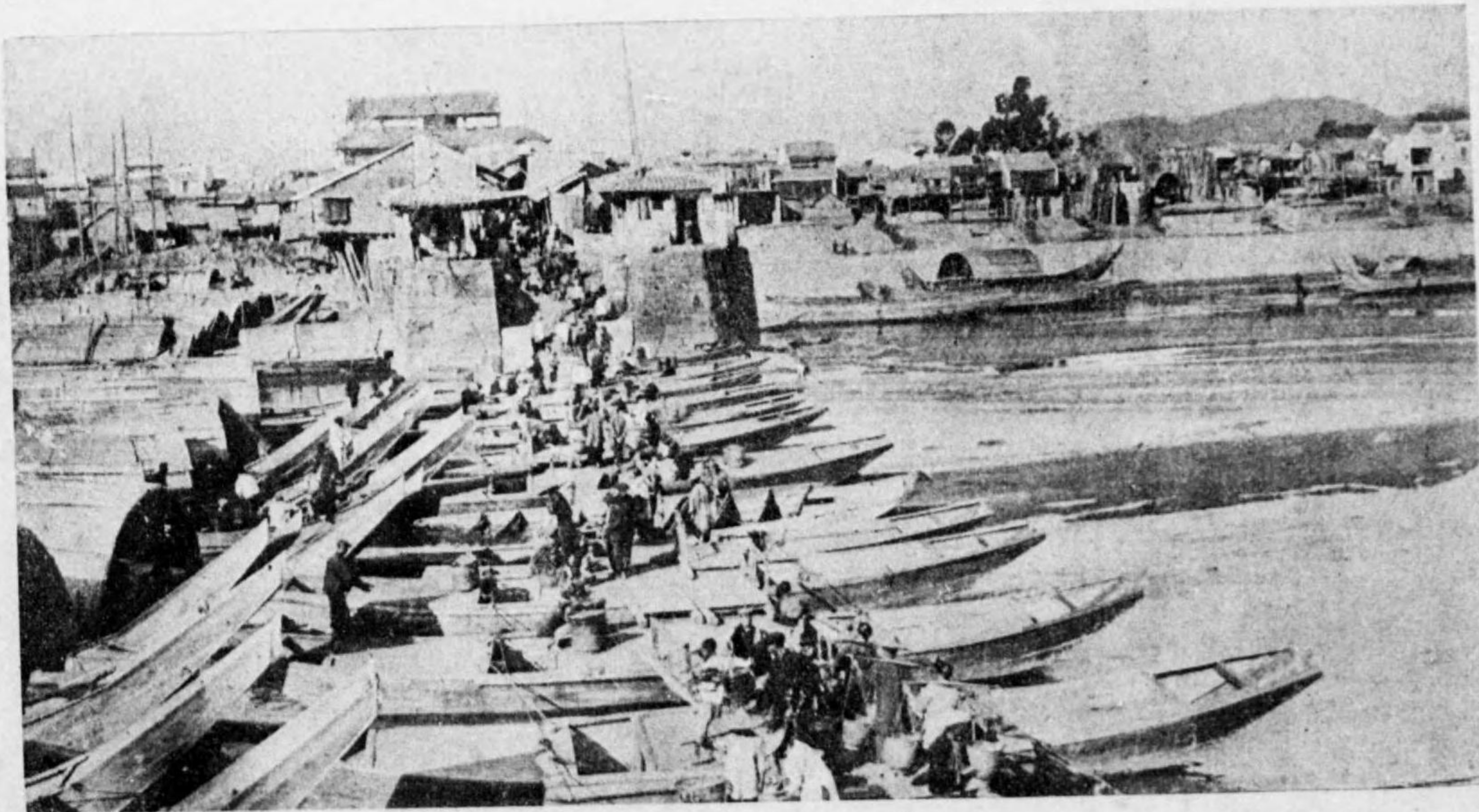
祠を建て、爾來元明清三朝を経て今日に及んだのである。廟祠内に韓公の木像を安置し、蘇東坡の筆に成る韓文公の碑（匹夫にして百世の師と爲り云々）は今猶ほ存するも、文字磨滅して讀み得ざるを惜しむ。最も現在のものは蘇東坡の書に非ず、兵燹に罹りたる爲め、後人の新に刻書したるものである。韓公の自筆に成る有名なる白鸚鵡賦は、今猶韓山師範學校の堂壁に其の雄大なる、筆書の達力なる筆致を残して居る。韓祠及韓山師範學校の地一帯は、舊名雙旌又は東山と云ひ、頂上は三峯に分れ、筆架に似たるを以て筆架山とも稱し、潮州市街と韓山を連絡する廣濟橋より、遙かに韓江の水流と潮州城府を一望の下に集め、風景勝美の小丘である。廣濟橋は湘子橋とも稱し、明の宣德十三年（西曆一四三五年）起工、數十箇月の長日子を費し、石材柱脚二十三を並べ、巨大なる一枚石又は木材を架し、兩側には商家櫛比し、中央を步道とし、又水流の中央部激流附近は、舟筏二十四隻を連ねて浮橋とし、珍奇なる架橋法として一觀の價值ありと信ずる。開元寺は城内甘露坊にある。唐代の建立に係り、宋の林紹堅、元の余英先相前後して田地八千餘畝を義捐し、其の維持費に充て、其の後屢々大修理を加へ、現在に至れる當地唯一の名刹である。大正十三年六月、日本の眞言密教界の巨人權田雷斧師が高弟十名を率ひ、支那人住結の懇請に依り渡來し、此の開元寺に於て數日間授法し、大成

功を納めた歴史を有する。金山は城北にあり。高さ四百尺、周圍四支里、往昔金氏の此の地を領有し、此の名を生じたものである。此の山の歴史は、今より千年以前の宋の祥符年間に初まる。風景絶佳寔に東南最勝の名に背かない。現に金山中學あり、此の基礎設備共に見るべきものがある。金山の麓より徒歩僅かにして、西湖山に達する。舊名を銀山と稱し、高さ五百尺、周圍十支里、其の麓の池を西湖と云ふ。山内に寺宇奇巖洞亭あり、風雅誠に賞すべきものがある。

〔意溪〕 鐵道の終點で、潮州の北二哩、韓江河岸に沿ひ、市街は對岸にある。江西・福建兩省に跨る水路の要點を扼し、潮汕鐵道延長の基點を爲して居る。現在木材の集散地として名を知られて居る。

〔潮陽〕 汕頭の西南水路約十五哩、人口十二萬、縣廳の所在地である。汕頭との間に日日數回の小蒸汽の便あり、約五十分で潮陽碼頭に達する。碼頭より城内迄約七支里、汽車と橋の乗物がある。城内にある塔は全部花崗石造で、七層八角形を爲し、現に警察署構内になり居り、登ることが出来る。郊外の東山は寺廟の名所たるを以て、遊覽に適する。

〔揭陽〕 汕頭の西水路二十五哩、縣廳の所在地で、人口十萬内外、汕頭より毎日三回小蒸汽の便がある。途中關埠・砲臺・曲溪等を経て、約四時間で到達す。砂糖米の産地で、又麻布の加工業を以て有名である。新農民運動の盛んな土地として、最近名を挙げつゝ

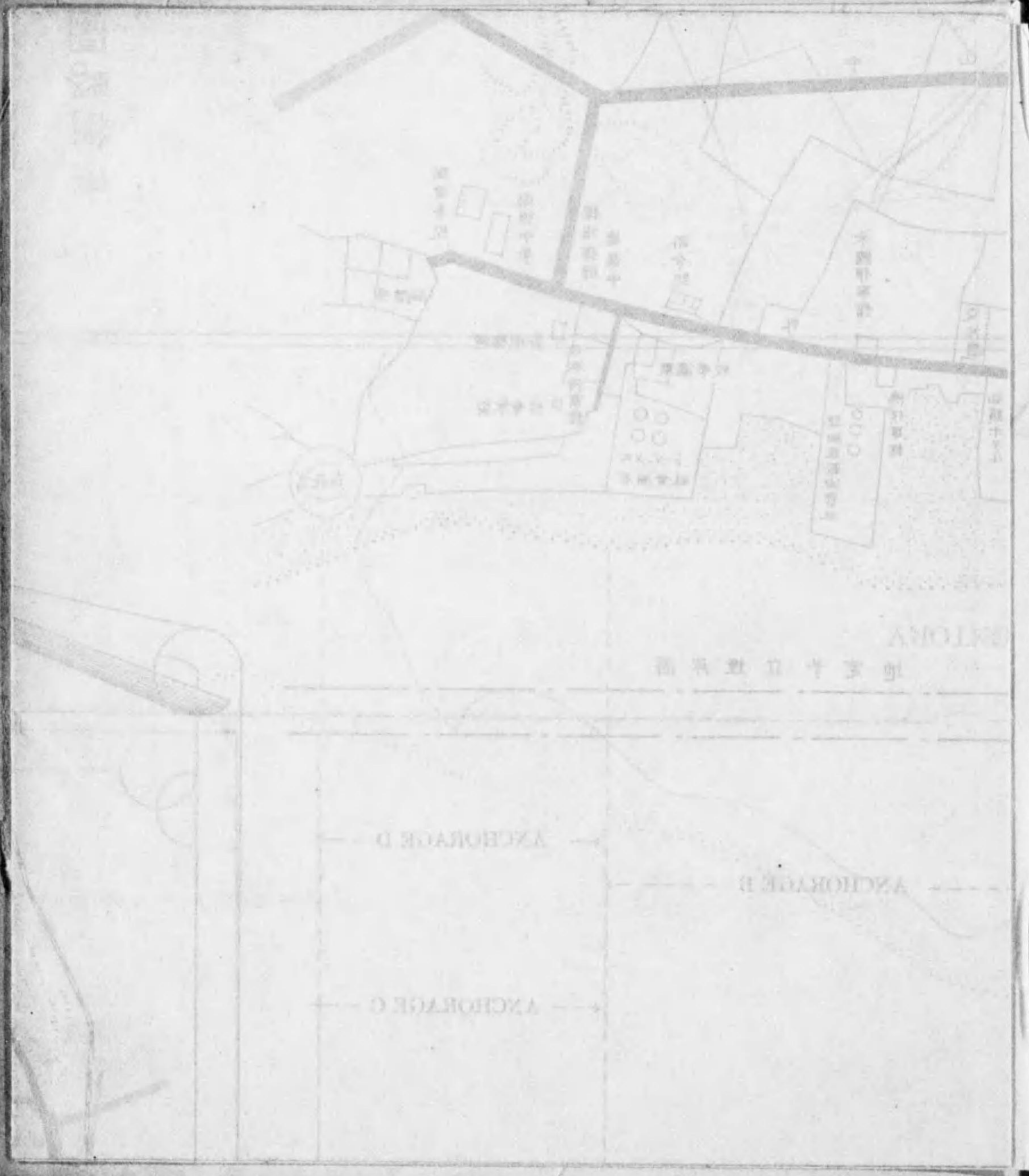


潮州湘子橋の船橋



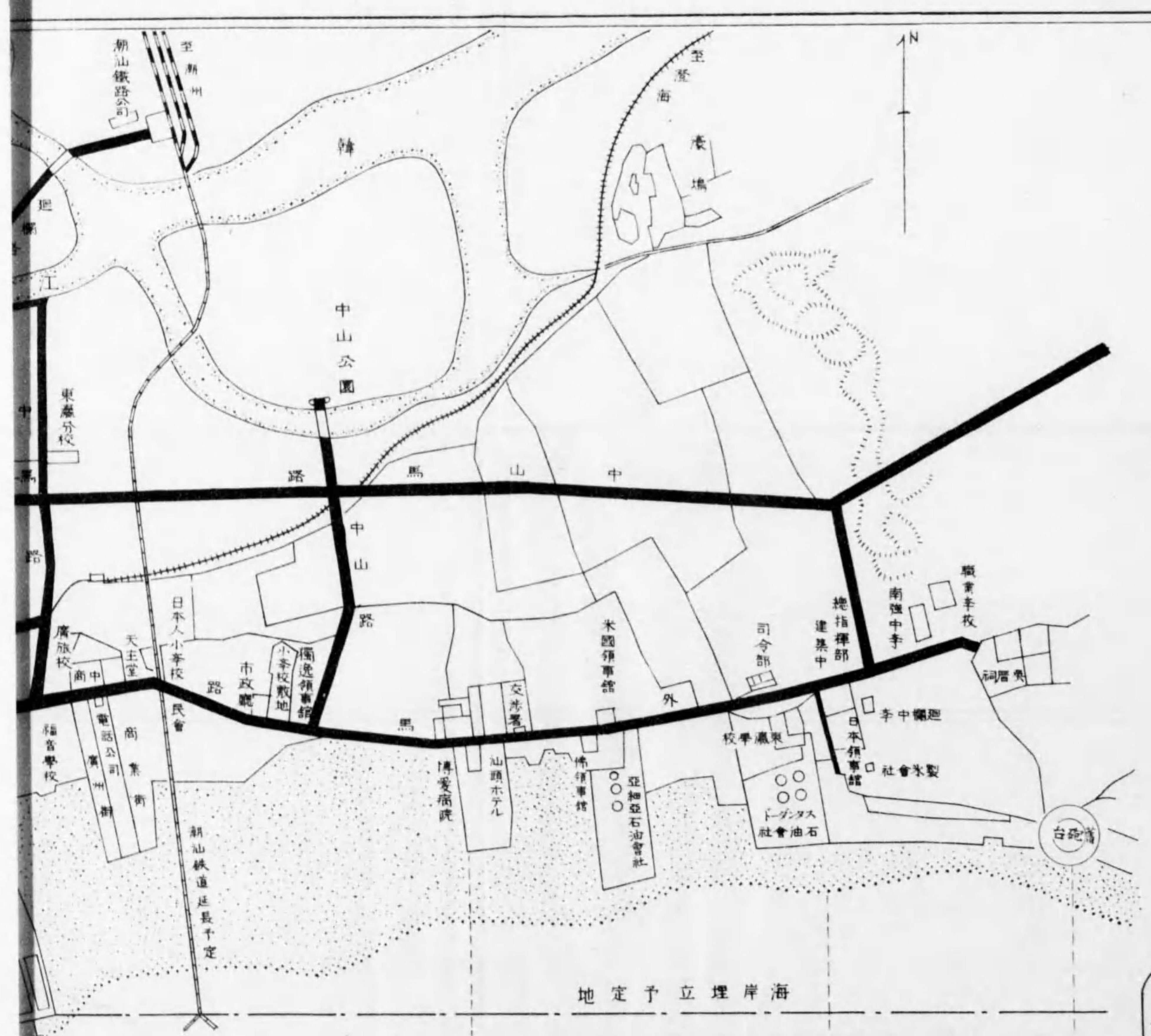
潮 州 西 湖 の 景

ある。
 【澄海】汕頭の東北約十哩、縣廳の所在地で、人口三萬、澄海綿布の産物である。汕頭との間は手押臺車の便があり、一日で往復し得る。
 【蓬濠】汕頭より水路十五哩、毎日三回小蒸汽の便があり、對岸角石より山越遠足に適する。人口三萬、海産物の産地として、特に鰯・干鰈・干海老を以て有名である。市街の背後山上に名刹あり、風景又佳である。
 (大尾)



6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 5

汕頭市街略圖



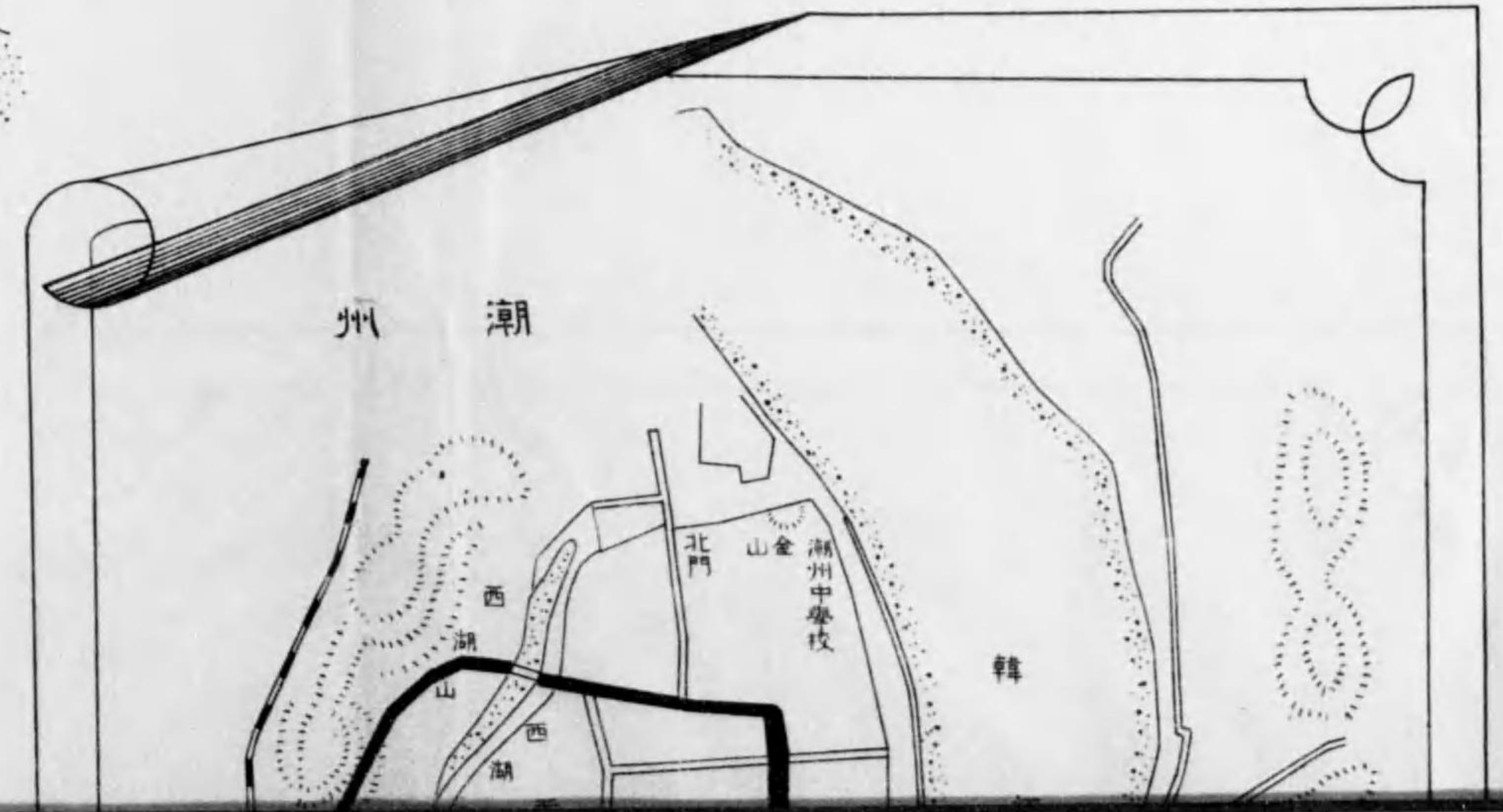
地定予立埋岸海

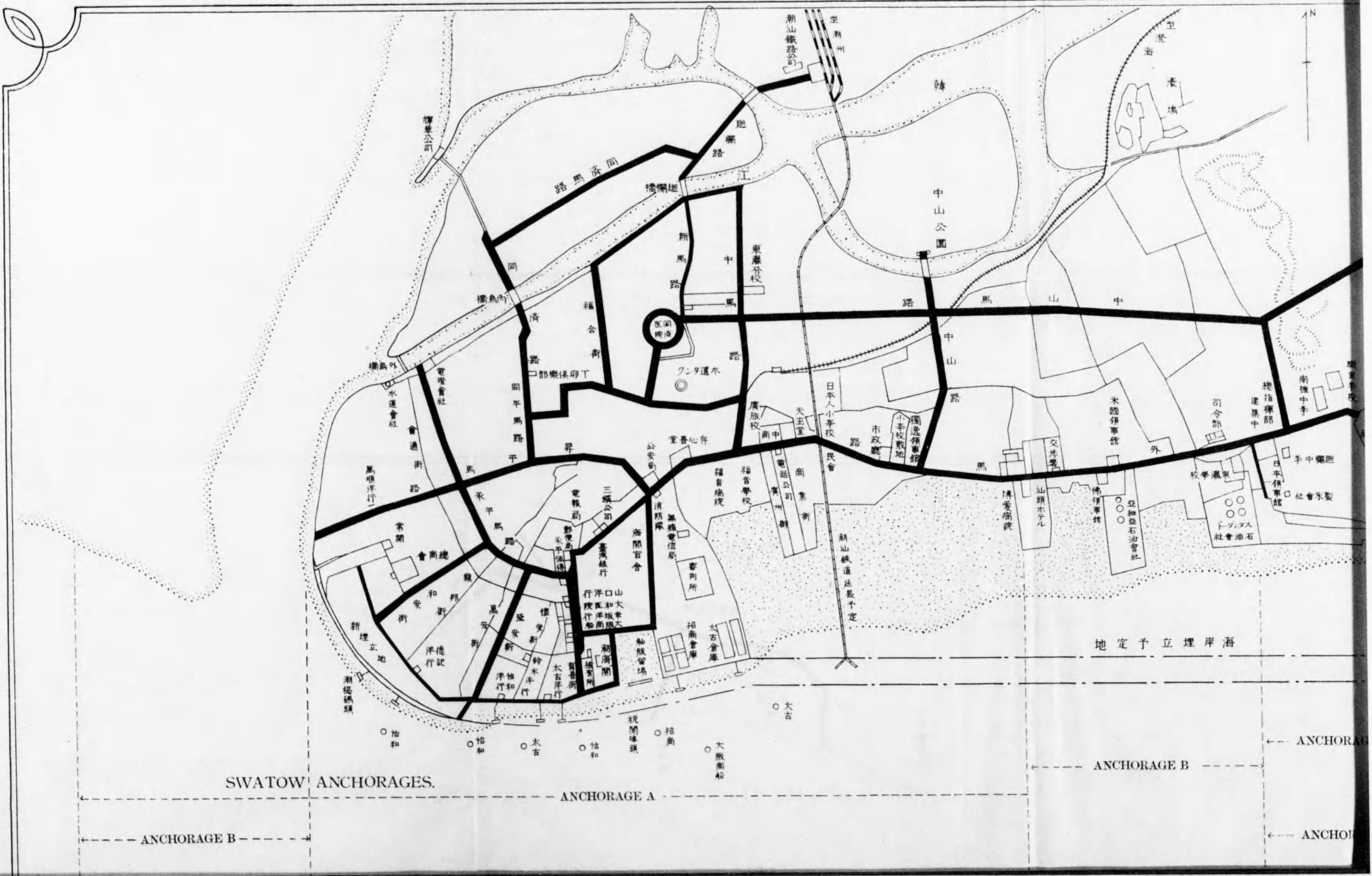
○ 大古

← ANCHORAGE B →

← ANCHORAGE D →

← ANCHORAGE C →





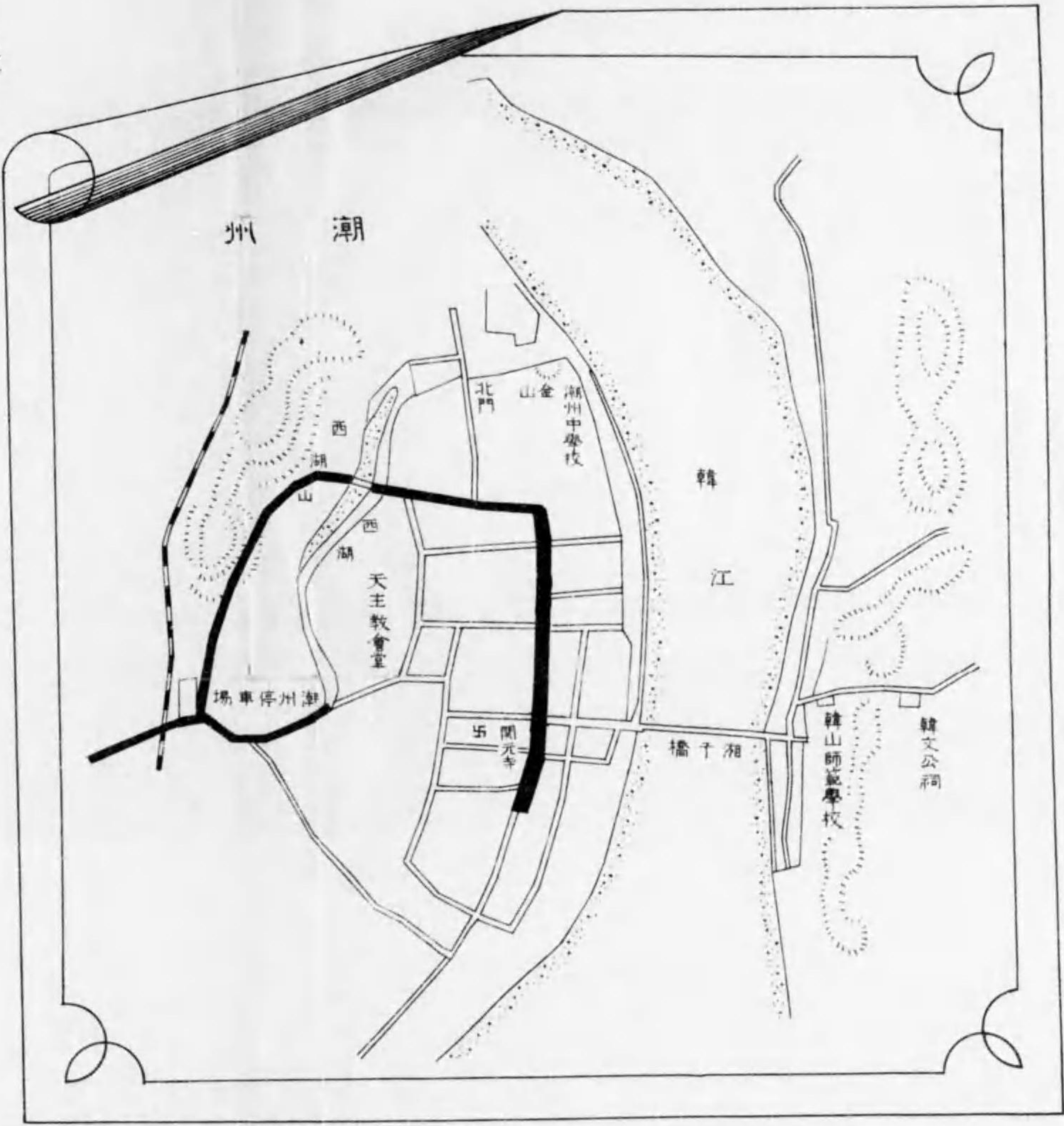
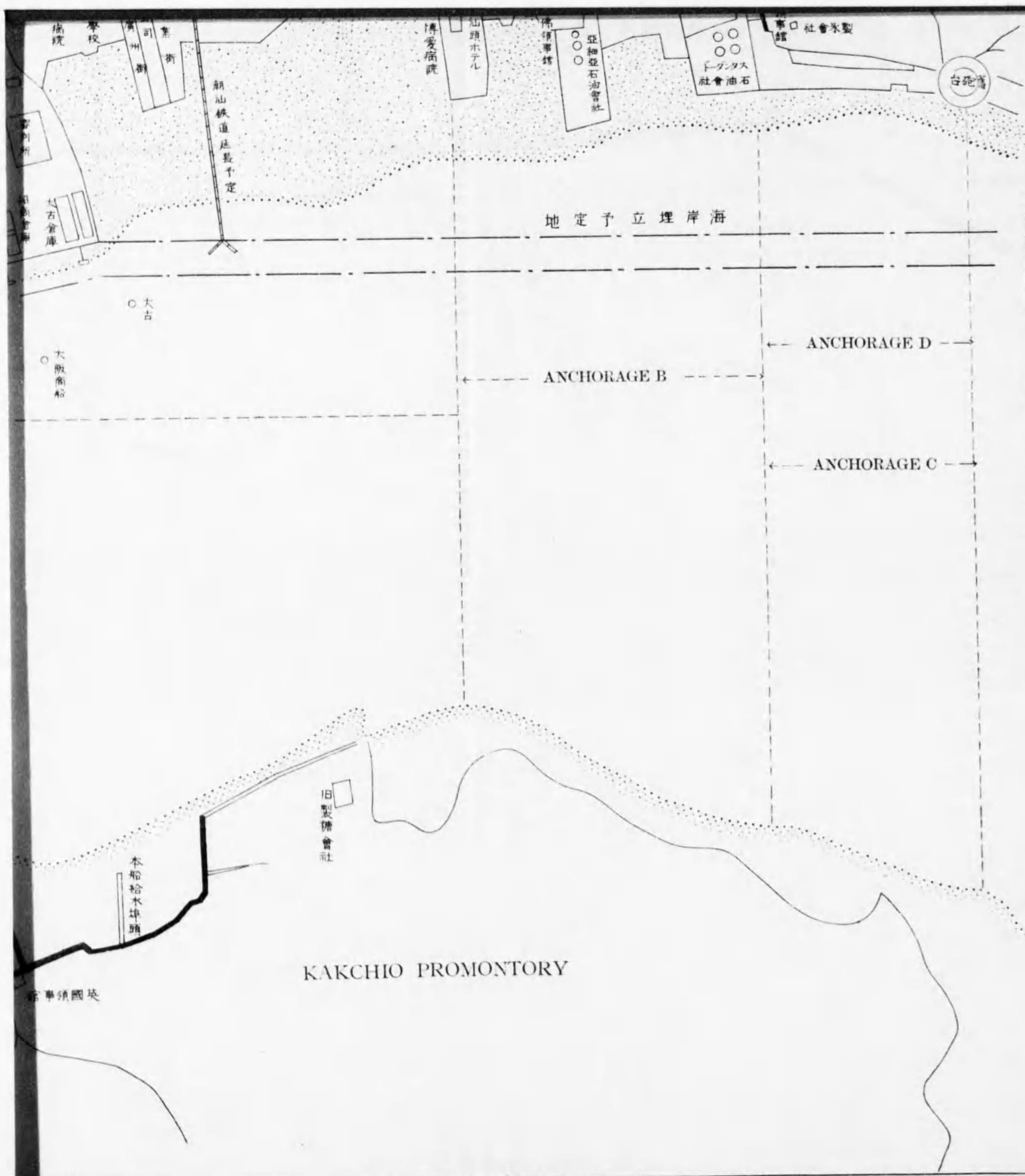
SWATOW ANCHORAGES.

ANCHORAGE A

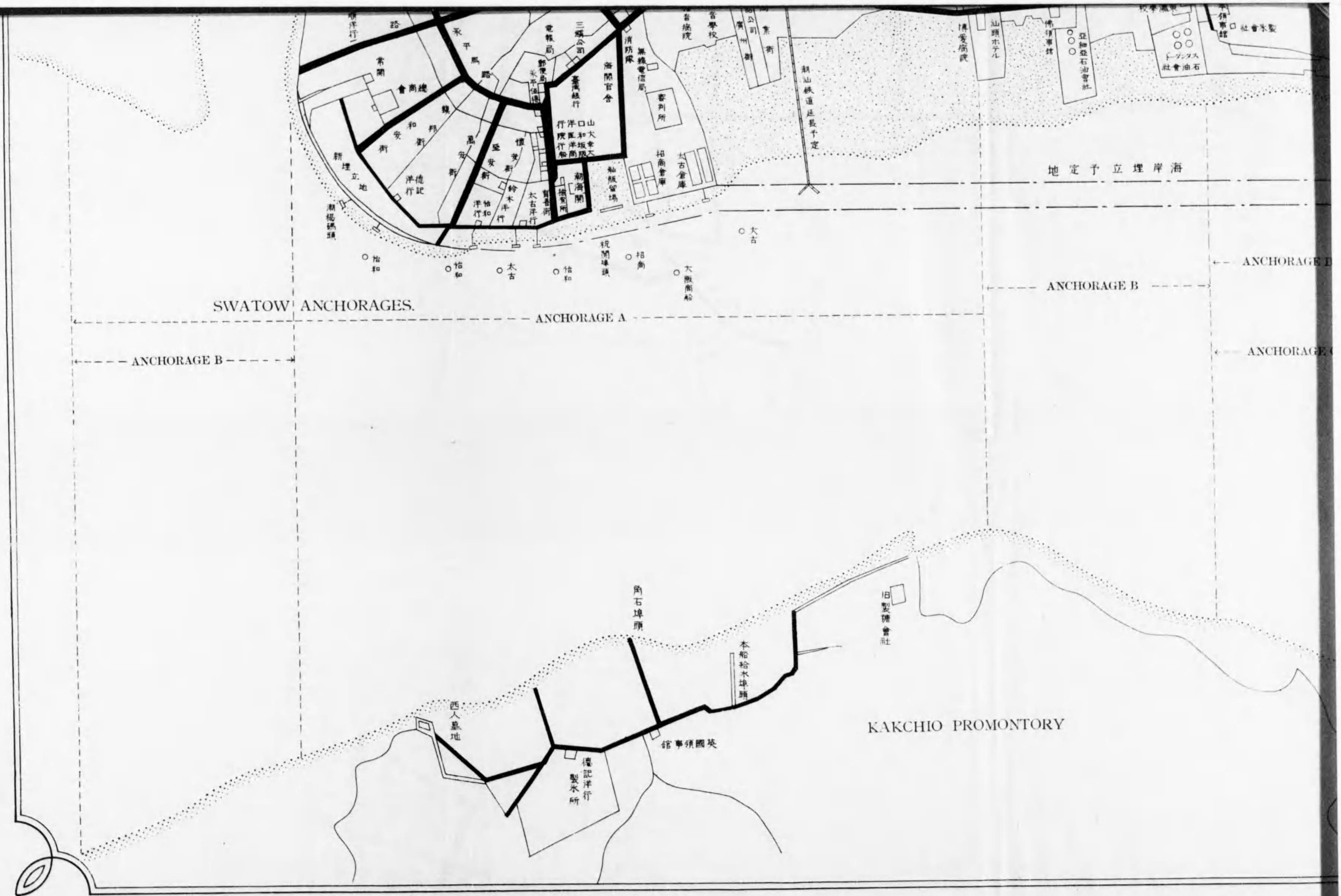
ANCHORAGE B

ANCHORAGE B

ANCHOR



新汕頭附屬圖之一



SWATOW ANCHORAGES.

ANCHORAGE A

ANCHORAGE B

ANCHORAGE D

ANCHORAGE C

KAKCHIO PROMONTORY

西人墓地

角石埠頭

本船給水埠頭

舊製糖會社

德記洋行
製水所

英領事館

製糖會社
石油會社

博愛醫院

潮汕鐵道延長予定

三興公司

海關官舍

招商局

太古洋行

德記洋行

和安街

常關

新埋立地

潮揚碼頭

海岸埋立予定地

太古

大廠商船

招商

稅關碼頭

怡和

太古

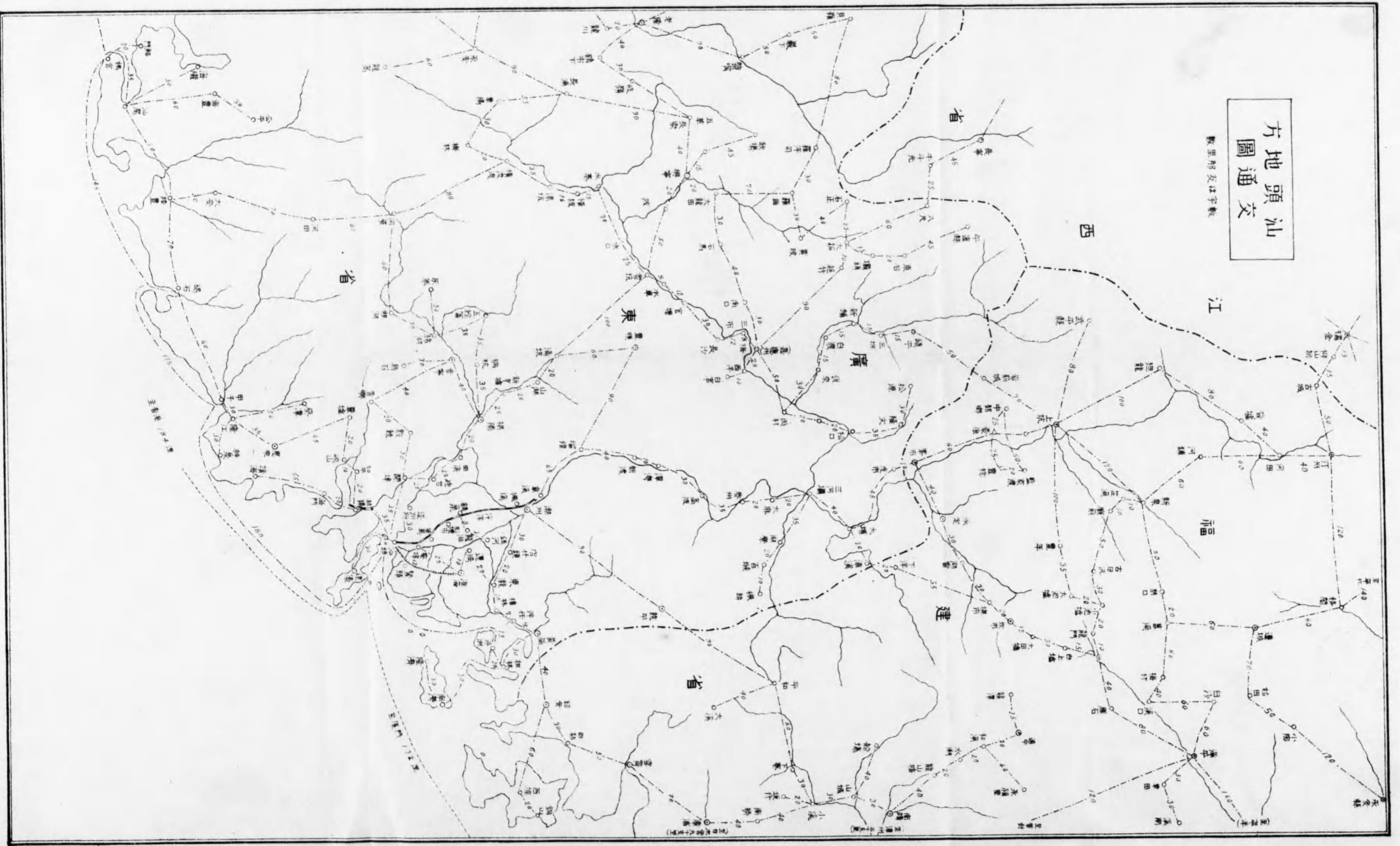
怡和

怡和

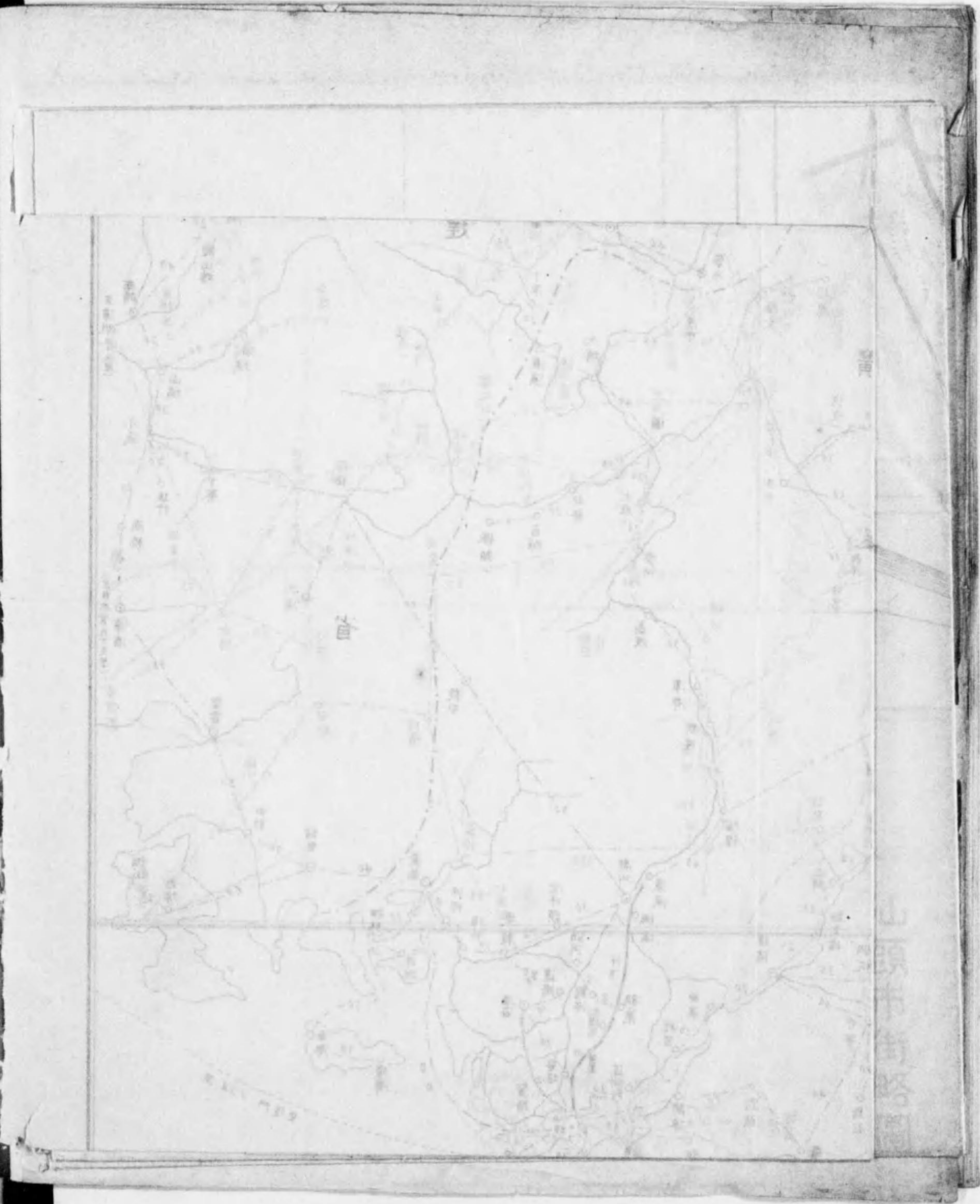
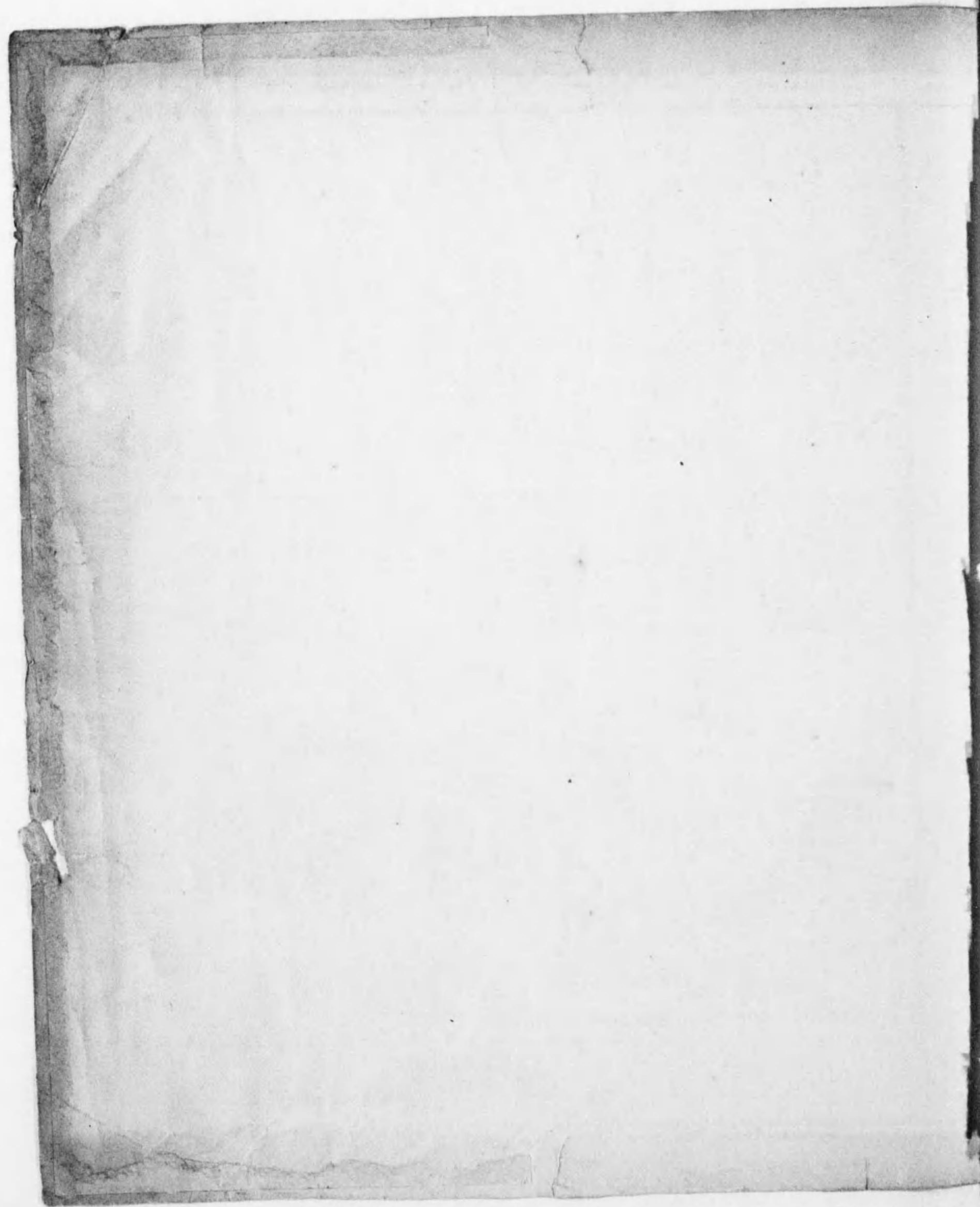
ANCHORAGE B

汕頭地方交通圖

數字代表英里數



新汕頭附屬圖之一



終

